

2024年度

(2024年4月1日から
2025年3月31日まで)

第14期事業報告書

目 次

I	2024年度事業の概要	1
1.	消費者啓発・情報提供活動	1
2.	学術振興事業	2
3.	調査・研究活動	2
II	2024年度事業別活動状況	4
I	消費者啓発・情報提供活動	4
1.	生活設計・生活保障に関する教育活動	4
(1)	中学校向け活動	4
(2)	高等学校向け活動	5
(3)	大学向け活動	5
(4)	社会人向け活動	6
(5)	教員向け活動	7
2.	消費者団体等との連携・交流活動	8
(1)	消費生活相談員等への情報提供	8
(2)	消費者団体及び各種団体等との交流・連携	9
3.	情報提供活動	10
(1)	ホームページ	10
(2)	動画による情報提供	11
(3)	各種小冊子による情報提供	11
(4)	相談対応活動	13
(5)	広報活動	13
(6)	「各社個人保険商品一覧」の作成	15
II	学術振興事業	16
1.	保険研究の活性化に向けた取組み	16
(1)	研究会の運営	16
(2)	研究者への支援	17
(3)	学術振興委員会	18
2.	学術交流の促進に向けた取組み	18
(1)	保険学セミナー・保険学セミナー懇談会＜東京、大阪＞	18
(2)	講演会	19
3.	情報提供活動	19
(1)	生命保険論集	19
(2)	生命保険判例集	19
(3)	保険事例研究会レポート	19
(4)	WEB版「生命保険用語英和・和英辞典」のメンテナンス	20
4.	関連諸学会との連携	20

Ⅲ 調査・研究活動	2 1
1. 調査活動	2 1
(1)「生命保険に関する全国実態調査」(第 21 回)の実施	2 1
(2)「生活保障に関する調査」(第 17 回)の企画・検討	2 2
(3)個票データの学術的活用の促進	2 3
2. 研究機能の強化	2 3
Ⅳ 諸会議開催状況	2 4

資 料 編

1. 第 6 2 回中学生作文コンクール都道府県別応募状況・入賞者数一覧	2 9
2. 生命保険実学講座開催状況一覧	3 0
3. 生命保険学習会開催状況一覧	4 2
4. 相談員勉強会開催状況一覧	4 4
5. 相談内容別件数(一般相談)	4 6
6. 新聞・機関紙・テレビからの取材対応	4 7
7. 研究会の開催状況	4 8
8. 研究助成者・研究テーマ一覧	5 1
9. 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会の開催状況	5 3
10. 生命保険論集の掲載状況	5 5
11. 個票データの学術的活用状況	5 6

I 2024年度事業の概要

我が国は、人生100年時代の中、少子高齢化・人口減少等の構造変化やライフスタイルの多様化等が進行している。加えて、新型コロナウイルス感染症の経験、自然災害の頻発や激甚化、国際的な緊張の高まりや経済環境の変動等により、国民のリスク全般に対する意識と社会保障制度への関心は一層高まっている。このような中、当センターに期待される役割はますます重要になっているとの認識のもと、2024年度の事業を推進した。

消費者啓発・情報提供活動においては、自助・共助・公助や民間保険、リスク管理等といった中学校・高等学校の学習指導要領の内容や、18歳を迎えると成人となり自立や責任が伴うことなどを踏まえ、中学生・高校生・大学生向けの生活設計・生活保障教育の更なる拡充を図った。また、学生からシニア層までの各世代に対応したより実践的な教育・啓発に取り組むとともに、ホームページや小冊子等を通じた適切な情報提供に努めた。学術振興事業においては、研究会運営や研究助成等の研究者への支援を通じて、生命保険に関する研究の活性化に注力するとともに、保険学セミナー等の開催・運営による学術交流の促進に取り組んだ。調査・研究活動においては、第21回となる「生命保険に関する全国実態調査」を実施するとともに、2025年度に実施する第17回「生活保障に関する調査」の企画案を策定した。

1. 消費者啓発・情報提供活動〔公益目的事業1、一部共益事業※〕

<2024年度基本方針>

- (1) 生命保険実学講座や生命保険学習会等の講師派遣において、引き続き、対面による講座だけではなく、リアルタイムの双方向によるオンライン講座や動画を録画したオンデマンド方式の講座といった非対面による講座を選択肢として提供するとともに、ホームページや小冊子、YouTubeやX(旧Twitter)といったSNSを活用した啓発・情報提供活動を積極的に行う。
- (2) 「中学生作文コンクール」については、2023年度(第61回)は応募校数813校・応募作品数26,221編となった。引き続き、中学生作文コンクールに取り組む学校へのサポートツールとしての動画提供や中学生向け授業の活用等を通じ、あわせて周辺団体と連携した広報活動を行うことにより、中学生作文コンクールの更なる普及・浸透を図る。
- (3) 学校教育用副教材や生命保険実学講座について、新学習指導要領や成年年齢引下げを踏まえ、また、教員との懇談会や教員対象セミナー、教員対象勉強会等を通して、中学校社会科・家庭科教員及び高等学校家庭科・公民科教員との接点を拡大し副教材に関する情報収集を行うことにより、学校現場の実状に即したより効果的なものとする。また、大学生向けには、アクティブ・ラーニングを取り入れた講座や社会人向けのテーマの講座も提供するなど、選択の幅を広げ、主催者側の要望に柔軟に対応する。

- 中学校から大学までの生徒・学生を対象に、当センター職員が講師となり、生活設計・生活保障に関する基礎知識を伝える「生命保険実学講座」は、全国各地で689回(2023年度:661回)実施した。学校からの要請に応じて、Zoom等を活用した双方向によるオンライン講座や講義を収録した動画を提供するオンデマンド講座を実施した(689回のうち、オンライン講座35回、オンデマンド講座57回)。また、大学生向けには、アクティブ・ラーニングを取り入れた講座資料や生活設計・社会保険・生命保険にそれぞれ特化した3種類の講義展開案を活用した講座を実施した。

※ オンライン講座・オンデマンド講座の詳細については、6ページ参照。

- 第62回「中学生作文コンクール」において、全国の中学校779校から26,241編(2023年度(第61回):応募校数813校・応募作品数26,221編)の応募があった。引き続き、中学生向け副読本「生命保険って何だろう?」を広く配布し、あわせてサポートツールとして動画を提供することにより、中学生作文コンクールの普及・浸透を図った。

また、教員だけではなく、生徒への直接周知を図るため、生徒向けの案内チラシを作成し、希望する学校へ広く配布した。

- 2023 年 11 月に締結した「保険教育に関する包括連携協定」に基づき、日本損害保険協会との共同で、高校生を主な対象としたカードゲーム教材「ソナソナ～備える者たちに幸あれ～」を作成した。
- 日本損害保険協会との共催で、全国の中学校・高等学校の家庭科教員及び社会科・公民科教員を対象に、教員対象セミナーを開催した。例年実施している夏季だけではなく、今年度は初めて冬季にも開催した。

	生命保険 実学講座	生命保険 学 習 会	相談員勉強会	ホームページ アクセス件数	消費者向け 小冊子頒布部数
2022 年度	687 回	96 回	65 回	672 万件	13 万部
2023 年度	661 回	99 回	70 回	736 万件	10 万部
2024 年度	689 回	91 回	76 回	749 万件	10 万部

＊ ホームページアクセス件数は、2022 年度まではユニバーサルアナリティクス、2023 年度からは Google アナリティクス 4 で計測した数値。

＊ 上記実施回数のうち、①オンライン講座として実施したのは、生命保険実学講座 35 回、生命保険学習会 10 回、相談員勉強会 4 回、合計 49 回、②オンデマンド講座として実施したのは、生命保険実学講座 57 回、生命保険学習会 4 回、相談員勉強会 1 回、合計 62 回。

2. 学術振興事業 〔公益目的事業 2、一部共益事業※〕

＜2024 年度基本方針＞

- (1) 広く「保険」を対象とした研究活動の活性化を推進するとともに、ライフコースが多様化する時代における生命保険ないしは生命保険業界が果たすべき役割を明らかにすることを目的とした「家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会」（2023 年度設置）を継続する。また、既存の各種研究会への若手研究者の参加促進に積極的に取り組み、保険研究者の裾野の拡大及び生命保険に関する研究の活性化を支援する。
- (2) 各種研究会に加え、保険学セミナー、国内外の有識者による講演会、研究助成者の優秀論文表彰式等の場を通じ、産学の接点をより充実させ、学術交流・学際交流の促進に取り組む。その運営にあたっては、開催方式（対面、オンライン及びその併用）の利点を考慮しつつ、状況に応じて柔軟に実施する。

- 「家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会」を含む各種研究会を、若手研究者の参加推進を図りつつ運営するとともに、若手研究者を中心とした研究支援として 13 件の研究助成を実施するなど、保険研究者の裾野の拡大に注力した。
- 研究会等については、開催方式の利点を考慮しつつ、対面及びオンラインで開催した。学術交流の促進についても、保険学セミナー及び同懇談会を状況に応じて対面及びオンラインで実施した。また、過去に接点のあった保険周辺分野の若手研究者に向けて保険学セミナー入会案内等の勧奨活動を実施した。

3. 調査・研究活動 〔公益目的事業 3〕

＜2024 年度基本方針＞

- (1) 「生命保険に関する全国実態調査」（第 21 回）について、4～5 月に実査を行い、10 月に速報版、12 月に報告書を発行する。
- (2) 2025 年度実施予定の「生活保障に関する調査」（第 17 回）について、企画案の策定及び実施準備を行う。

- 「生命保険に関する全国実態調査」(第 21 回)については、4～5 月に調査を実施し、11 月に速報版、1 月に報告書をそれぞれ Web 版としてホームページに掲載した。
- 社会環境の変化に伴う生活保障意識や保障準備の実態を時系列に把握するために 3 年毎に実施する「生活保障に関する調査」(第 17 回)の準備を行った。

※共益事業…公益目的事業（不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの）以外の事業

Ⅱ 2024年度事業別活動状況

I 消費者啓発・情報提供活動

〔公益目的事業1、一部共益事業〕

1. 生活設計・生活保障に関する教育活動

(1) 中学校向け活動

① 中学生向け生命保険実学講座

- 生活設計・生活保障に関する実践的教育の機会として、中学生向けの講座を展開した。社会科における講座では、新学習指導要領の内容を踏まえた副教材を活用した。また、国語科・家庭科・総合的な学習の時間における講座では、身近なリスクに備えることの大切さについて考えさせることを目的とした副教材を活用した。(全国で17校・34回(うち社会科2回、国語科8回、家庭科2回、総合学習その他22回)開催・受講者数1,658名)

② 「中学生作文コンクール」の実施

- 「わたしたちの暮らしと生命保険」を課題に第62回中学生作文コンクールを実施し、全国の中学生に生命保険制度の役割や意義を考える機会を提供した(後援:文部科学省・金融庁・全日本中学校長会、協賛:生命保険協会)。
- 2024年5月中旬に応募要項を全国の中学校に発送し、9月9日に応募を締め切り、779校から26,241編の作文が寄せられた。応募締切後、2次の審査を経て、10月2日に開催された最終審査委員会において、文部科学大臣賞1名、全日本中学校長会賞1名、生命保険文化センター賞1名、優秀賞5名の全国賞入賞者8名を決定した。
- 全国賞入賞者8名を東京に招いた表彰式及び懇親パーティーを11月15日に開催した。
- 全国賞入賞作品8編を掲載した作品集を2024年10月に作成し、生命保険各社に有償斡旋した結果、808部の申込みがあった。また、全国賞入賞作品8編に表彰式・懇親パーティーの様相や来賓の挨拶などを加えた入賞作品集を2025年2月に作成した。



〔中学生作文コンクール 応募状況〕

	応募校数		応募作品数	
		前年度比		前年度比
2022年度(第60回)	935校(9.3%)	91%	29,822編(0.92%)	86%
2023年度(第61回)	813校(8.1%)	87%	26,221編(0.82%)	88%
2024年度(第62回)	779校(7.8%)	96%	26,241編(0.83%)	100%

* 応募校数の()内は全国中学校数比、応募作品数の()内は全国中学校生徒数比。

* 都道府県別応募状況等は、後掲資料編29ページ参照。

③ 「教員との懇談会」実施による中学生作文コンクール運営、各種副教材等の検証

- オンラインにより、国語科教員との懇談会を実施した(1回)。中学生作文コンクール全般に関する情報収集として、学校における夏休みの課題の現状やポスター、各種サポートツール等について意見交換を行った。懇談会における意見を踏まえ、応募要項や各種サポートツール、サポート動画のサムネイルの改訂を行った。

- 東京で対面とオンラインの併用により、社会科教員との懇談会を実施した（1回）。社会科向け副教材 50 分授業セット「人生 100 年時代に必要な備えとは？」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 東京・大阪で対面とオンラインの併用により、高等学校家庭科教員との懇談会を実施した（各 1 回）。懇談会に参加した中高一貫校を含む各校の教員から意見を収集するとともに、中学校家庭科等（国語科・総合学習等含む）向け副教材 50 分授業セット「リスクに備える」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。

（２）高等学校向け活動

① 高校生向け生命保険実学講座

- 家庭科向けには「リスク管理など不測の事態の対応」「預貯金や民間保険などの資金計画」、公民科向けには「自助、共助及び公助の重要性」といった学習指導要領の内容を踏まえた講座を開催した。また、18歳成人や契約、キャリア等をテーマとした副教材を活用した講座を積極的に展開した。学年単位の総合的な学習の時間においても、これらの講座を学校の要望に応じて開催した。（全国で124校・484回（うち家庭科294回、公民科17回、総合学習その他173回）開催・受講者数21,822名）

② カードゲーム教材の新規作成

- 2023 年 11 月に締結した保険教育に関する包括連携協定に基づき、日本損害保険協会との共同で、高校生を主な対象としたカードゲーム教材「ソナソナ～備える者たちに幸あれ～」を作成した。病気・ケガ、死亡、介護、事故や自然災害など、年代ごとに人生の中で起こりうる様々なリスクを認識し、どのように備え、その備え方にはどのような手段があるか理解するために、民間保険（生命保険・損害保険）や社会保険が学べるアクティブ・ラーニング教材となっている。
- なお、今後生命保険協会地方事務室との連携により、本教材について各地の教育委員会等に案内活動を図っていく。

③ 「教員との懇談会」実施による副教材の検証・改訂

- 東京で対面とオンラインの併用により、公民科教員との懇談会を実施した（1回）。公民科向け副教材 50 分授業セット「自助・共助・公助について考えよう」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 家庭科教員との懇談会（前記（1）③）において、2 種類の家庭科向け副教材 50 分授業セット「生活設計とリスクへの備え」「事例から考えるリスクマネジメント」及び 18 歳成人や契約、キャリア等を切り口とした副教材 50 分授業セット「成年になるということ」を教員の授業実施経験に基づき検証し、ブラッシュアップを図った。
- 講義展開を自由にカスタマイズできるよう、中学校・高等学校向けの各種副教材を補足する参考スライド集（生命保険、社会保障制度、資産形成、働き方・キャリア、契約・消費者トラブルの計 5 種類）について、懇談会における意見を踏まえ改訂を行った。主な改訂として、各スライドのノート欄に関連する当センターのホームページのリンク先等を掲載することで、使用する教員のみならず生徒の調べ学習等でも役立つ資料となるよう改善を図った。

（３）大学向け活動

① 大学生向け生命保険実学講座

- 大学生向け冊子「生活設計とリスク管理」を活用した講座を中心に、生命保険の基礎知識や年金、医療、介護といった専門的なテーマの講座を含めて開催した。

(全国で大学では 77 校・132 回開催・受講者数 11,476 名、短期大学では 13 校・16 回開催・受講者数 612 名、専門学校では 19 校・23 回開催・受講者数 675 名)

- そのうち、アクティブ・ラーニングを取り入れた講座資料や生活設計・社会保険・生命保険にそれぞれ特化した 3 種類の講義展開案を活用した講座として、4 大学・2 短期大学・2 専門学校で 8 回実施した。

② 「教員との懇談会」実施による副教材の検証・改訂

- 東京で対面とオンラインの併用により、大学教員との懇談会を実施した (1 回)。大学生向け冊子「生活設計とリスク管理」の内容検証及びアクティブ・ラーニングを取り入れた講座展開案等の内容検証を行い、ブラッシュアップを図った。

③ 業界横断的な金融経済教育への取組み

- 引き続き、金融経済教育推進機構 (J-FLEC) で実施している金融関連団体連携による大学生向けの連携講座において、「リスクに備える」をテーマとして、22 大学に講師派遣を行った。
 - * 上記記載の連携講座における講師派遣は、(3) 大学向け活動 ①大学生向け生命保険実学講座の実績回数に含まれる。

<生命保険実学講座合計実績>

- 上記 (1) ~ (3) のように、生命保険実学講座として、中学校、高等学校、大学、短期大学、専門学校の生徒・学生に、生活設計・生活保障に関する基礎知識を学ぶ機会を提供することを目的に、教員の協力を得て講義時間の一部を利用して、当センター職員が講師となって実施した。(17 中学校・124 高等学校・77 大学・13 短期大学・19 専門学校、計 250 校で 689 回開催、受講者数 36,243 名)
- 学校からの要請に応じて、Zoom 等を活用した双方向によるオンライン講座や講義を収録した動画を提供するオンデマンド講座を実施した。250 校で 689 回開催した生命保険実学講座のうち、オンライン講座は 35 回 (2 中学校で 2 回、8 高等学校で 20 回、10 大学で 12 回、1 専門学校で 1 回)、オンデマンド講座は 57 回 (1 中学校で 1 回、9 高等学校で 42 回、10 大学で 14 回) であった。オンデマンド講座の動画は、迅速に汎用性の高いものを提供できるように、一定数の要請がある中学生向け、高校生向け、大学生向けにオンデマンド用定型動画を作成、活用している。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2022 年度	687 回	123%	32,559 名	120%
2023 年度	661 回	96%	31,543 名	97%
2024 年度	689 回	104%	36,243 名	115%

* 生命保険実学講座の開催状況は、後掲資料編 30~41 ページ参照。

* 2024 年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した 15 回分 (10 ページ「③ 生命保険協会地方事務室との連携」に記載) を含む。

(4) 社会人向け活動

① 生命保険学習会の実施

- 全国各地の消費者行政機関・消費者団体等が主催する消費者向けの学習会と、企業・官公庁等が主催する従業員・職員向けの学習会に、生活設計・生活保障に関する正しい知識と、各年代層のニーズに適したより効果的な情報の提供を目的に、当センター職員を講師として派遣した。(全国で 91 回開催・受講者数 4,545 名)

- 主催者からの要請に応じて、91 回開催した生命保険学習会のうち、オンライン講座は 10 回（消費者向け 2 回、従業員・職員向け 8 回）、オンデマンド講座は 4 回（消費者向け 2 回、従業員・職員向け 2 回）であった。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2022 年度	96 回	123%	6,741 名	153%
2023 年度	99 回	103%	4,444 名	66%
2024 年度	91 回	92%	4,545 名	102%

* 2024 年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した 4 回分（10 ページ「③ 生命保険協会地方事務室との連携」に記載）を含む。

[学習会種類別の開催回数]

	消費者向け	従業員・職員向け	合 計
2022 年度	27 回	69 回	96 回
2023 年度	41 回	58 回	99 回
2024 年度	35 回	56 回	91 回

* 生命保険学習会の開催状況は、後掲資料編 42～43 ページ参照。

② 若年社会人に対する教育

- 若年社会人向けの生活設計・生活保障教育の一環として、専門高校（農業・工業・商業高校等）等の主に卒業を控えた生徒や保健所・保健センター等を通じた子育て世代を対象に、「ほけんのキホン for Beginners」の無償配布に注力した。

[提供部数]

提 供 先	提供部数
専門高校等の主に卒業を控えた生徒等	134,932 部（134,453 部）
子育て世代	14,961 部（14,500 部）
合 計	149,893 部（148,953 部）

（ ）内は 2023 年度

- 「ほけんのキホン for Beginners」の無償配布とあわせた解説講座を開催した。（全国で専門高校等の主に卒業を控えた生徒等に向けた講座として、34 校・56 回開催・受講者数 3,381 名、子育て世代向けに 5 回開催・受講者数 158 名）

* 上記記載の「専門高校等の主に卒業を控えた生徒を対象とした講座」は、（2）高等学校向け活動 高校生向け生命保険実学講座及び（3）大学向け活動 大学生向け生命保険実学講座に、「子育て世代向けの講座」は、（4）社会人向け活動 消費者向けと従業員・職員向けの生命保険学習会の実績回数に含まれる。

（5）教員向け活動

① 「教員対象セミナー」の開催

- 日本損害保険協会との共催で、全国の中学校・高等学校の家庭科教員及び社会科・公民科教員を対象に、「くらしとリスク管理」をテーマとした教員対象セミナーを開催した。例年実施している夏季だけではなく、今年度は初めて冬季にも開催した。引き続き、会場参加に加え、リアルタイムのオンラインによる参加も可能とした。（夏季：①8 月 1 日大阪：会場参加 24 名・オンライン参加 15 名、②8 月 2 日東京：会場参加 20 名・オンライン参加 19 名、③8 月 19 日東京：会場参加 9 名・オンライン参加 18 名、冬季：④12 月 26 日東京：会場参加 21 名・オンライン参加 27 名、4 日間合計 153 名）

- 大阪教育大学 大本久美子教授による基調講演、家庭科教員による生活設計やリスク管理に関する授業実践報告、公民科教員による社会保障制度や民間保険に関する授業実践報告、及びグループ形式による意見交換を実施した。

〈基調講演〉

- ・講演タイトル：『人生 100 年時代の生活をデザインしよう』
- ・講演者：大阪教育大学 健康安全教育系 家政教育部門 大本 久美子 教授

〈授業実践報告〉

- 高等学校家庭科授業実践報告
 - ・講演タイトル：『くらしの中のリスクへの備えを考える授業』
 - ・講演者：筑波大学附属高等学校 家庭科 西 祐貴子 先生
- 高等学校公民科授業実践報告
 - ・講演タイトル：『エンカレッジスクールにおける社会保障制度と民間保険に関する授業実践』
 - ・講演者：東京都立秋留台高等学校 公民科 梅林 知輝 先生

② 教員対象勉強会への講師派遣

- 各地の教員が所属する研究会等からの要請に応じて、副教材の活用方法及び社会保険・生命保険に関する内容をテーマとする勉強会に講師を派遣した。（全国で 3 回開催・受講者数 140 名。うち 2 回については、日本損害保険協会と共催で実施。）

③ 学校教育用副教材の提供

- 学校における生活設計・生活保障に関する教育活動の促進のため、学校教育用副教材を希望する学校・教員に無償提供した。

[提供部数]

教 材 名	提供部数
「生命保険って何だろう？」（中学校用）	42,207 部（53,546 部）
「君とみらいとライフプラン」2024 年度版（高等学校用）	
・生徒用ワークブック	122,380 部（127,329 部）
・教員用手引き	1,522 部（1,421 部）
「生活設計とリスク管理」（大学用）	11,153 部（10,000 部）

（ ）内は 2023 年度

- * 「生命保険って何だろう？」は、中学生作文コンクール生徒用副読本として、「君とみらいとライフプラン」「生活設計とリスク管理」は、生命保険実学講座のテキストとしても利用。上記提供部数は実学講座開催時の利用部数を含む。

2. 消費者団体等との連携・交流活動

（1）消費生活相談員等への情報提供

① 相談員等を対象とした勉強会の実施

1) 相談員勉強会

- 相談業務に役立てていただくことを目的に、消費生活センターの相談員や消費者団体が行う生命保険の勉強会等に、当センター職員を講師として派遣した。（全国で 15 回開催・受講者数 685 名）

2) 相談員等の地域別講習会

- 相談員等への定期的な情報提供機会の拡大を目的に、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会とそれぞれ連携し、地域別講習会を開催した。（全国で 8 回開催・受講者数 156 名）

3) くらしの設計講習会等

- 日本消費者協会とタイアップし、消費生活コンサルタント等を対象に、生命保険に関する情報提供と相談業務に役立つ有益な知識の付与を目的として「くらしの設計講習会」を 1983 年度以降毎年開催している。また、「消費生活コンサルタント養成講座」への講師派遣も行っている。タイアップによる講習会等を全国で 2 回開催し、受講者数 20 名。

* 消費生活コンサルタントは、日本消費者協会が主催する消費生活コンサルタント養成講座の修了者。

4) 消費者行政等との意見交換会の場を活用した勉強会

- 生命保険協会との共催により全国 54 地域で実施する消費者行政等との意見交換会の場を活用し、行政担当者や消費生活相談員に対して、「医療保障と介護保障」「市場リスク」を有する生命保険「相談事例から学ぶ生命保険」をテーマに勉強会を開催した。(全国で 51 回開催・受講者数 502 名)

<相談員等を対象とした勉強会合計実績>

- 上記①の 1) 相談員勉強会、2) 相談員等の地域別講習会、3) くらしの設計講習会等、4) 消費者行政等との意見交換会の場を活用した勉強会を合わせて 76 回開催・受講者数 1,363 名。
- 主催者からの要請に応じて、76 回開催した相談員等を対象とした勉強会のうち、オンライン講座は 4 回、オンデマンド講座は 1 回であった。

[開催回数・受講者数]

	開催回数		受講者数	
		前年度比		前年度比
2022 年度	65 回	133%	918 名	110%
2023 年度	70 回	108%	792 名	86%
2024 年度	76 回	109%	1,363 名	172%

* 相談員勉強会の開催状況は、後掲資料編 44～45 ページ参照。

* 2024 年度の開催回数は、生命保険協会地方事務局長へ講師業務を委託した 3 回分（10 ページ「③ 生命保険協会地方事務室との連携」に記載）を含む。

② 「生命保険・相談マニュアル」の配布

- 消費者からの相談業務に携わる消費生活相談員に役立てていただくことを目的として、1985 年の初版作成から改訂を重ねている。全国の消費生活センターの消費生活相談員等を中心に 1,713 部を無償配布した。また、相談員等を対象とした勉強会でも積極的に本マニュアルを使用し、活用促進を図った。

(2) 消費者団体及び各種団体等との交流・連携

① 消費者団体等との交流

- 生命保険協会が主催する、国民生活センター、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会等、消費者団体との意見交換会に出席（14 回）し、更なる連携強化を図った。

② 日本消費者教育学会との連携

- 消費者教育の発展を目的に、日本消費者教育学会が推薦する消費者教育に関する優れた研究に対し、副賞として「生命保険文化センター賞」を授与している。
- 2024 年度は、10 月 12・13 日に開催された日本消費者教育学会第 44 回総会において次の方に上記の副賞を授与した。

- 受賞者（3名）
- ・河原 佑香 氏（消費者教育支援センター）
 - ・坂本 有芳 氏（鳴門教育大学大学院）
 - ・堀江 雅子 氏（岐阜総合学園高等学校）

③ 生命保険協会地方事務室との連携

- 学校向け活動として実施している副教材の提供及び講師派遣、中学生作文コンクールや教員対象セミナーについて、各地の教育委員会や校長会等へ行う案内活動を、引き続き業務委託した。なお、今後は保険教育に関する包括連携協定に基づき作成したカードゲーム教材「ソナソナ」についても案内活動を業務委託し、普及を図っていく。
- 各地の消費生活センターならびに金融広報委員会、生命保険協会で奨学金を支給している介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校の短期大学・専門学校等への講師派遣案内活動、地方新聞社への小冊子改訂や中学生作文コンクール等の記事掲載案内活動について、引き続き業務委託した。
- 生命保険協会地方事務局長による講師派遣案内活動により、介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校で生命保険実学講座を開催した(32回・受講者数1,057名)。
* 上記の「介護福祉士・保育士養成給付型奨学金制度指定校」で開催した生命保険実学講座は、5ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動（3）大学向け活動の短大生・専門学校生向け生命保険実学講座の実績回数に含まれる。
- 講師派遣活動において、生命保険協会地方事務局長に講師業務を22回委託した（生命保険実学講座15回、生命保険学習会4回、相談員勉強会3回）。
* 上記の「生命保険実学講座」は、5ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動（3）大学向け活動の短大生・専門学校生向け生命保険実学講座の実績回数に、「生命保険学習会」は、6ページ記載の1. 生活設計・生活保障に関する教育活動（4）社会人向け活動の生命保険学習会の実績回数に、「相談員勉強会」は、8ページ記載の2. 消費者団体等との連携・交流活動（1）消費生活相談員等への情報提供 ①相談員等を対象とした勉強会の実績回数に含まれる。

3. 情報提供活動

（1）ホームページ

① ホームページによる情報提供の充実

- 当センターの活動や生命保険・生活設計に関する最新かつ適切な情報を広くタイムリーに提供しており、アクセス件数は7,491,631件と、前年度に比べて1.8%増加した。

[アクセス件数]

	アクセス件数※	
		前年度比
2022 年度	6,717,901 件	106.6%
2023 年度	7,358,064 件	109.5%
2024 年度	7,491,631 件	101.8%

※ アクセス件数は、2022年度まではユニバーサルアナリティクス、2023年度からは Google アナリティクス 4 で計測した数値。

- 「ひと目でわかる生活設計情報」の見やすさ、利便性向上のための見直し
ホームページコンテンツ「ひと目でわかる生活設計情報」全201ページについて内容を精査し、見やすさや利便性を考慮し16ページ統合、3ページ削除、1ページ修正を行った。

- ホームページのウェブアクセシビリティ診断
年齢や障害などの有無、利用環境などにかかわらず、ホームページ利用者が情報及びサービスにアクセスしやすくするため、当センターホームページのウェブアクセシビリティ改善への取組みを開始した。2024 年度は、ウェブアクセシビリティの改善にあたり「診断」、「結果検証、改善方針提案」、「改善作業」のうち「診断」を行った。
- ホームページコンテンツ「ひと目でわかる生活設計情報」の新規ページを 8 タイトル作成した。

分野	タイトル
仕事（就労）	副業をしている人はどれくらいいる？
相続	死亡退職金に相続税がかかる？
仕事（就労）	自己啓発を行っている人はどれくらいいる？
仕事（就労）	年収の壁について知りたい
仕事（就労）	退職金にかかる税金はどのくらい？
仕事（就労）	現役時代の働き方で老齢年金額（月額）はどれくらい違う？
相続	亡くなった人の預貯金はどうなる？
健康	どんなことに悩みやストレスを感じる？

- WEB マガジンとして、生命保険や社会保障制度、生活設計等に関するエッセイを年間 12 回掲載した。2024 年度は大学教授（3 回）、消費生活相談員（3 回）、税理士（3 回）、当センター職員（3 回）が執筆した。
- 中学校・高等学校における生活設計や金融等に関する授業実践事例を紹介する「教育の現場から」を年間 5 回掲載・提供した。

② メールマガジンによる情報提供

- 生命保険や社会保障制度、生活設計等について、タイムリーに適切な情報提供を行うため、メールマガジンを月 2～3 回程度、年間 38 回（2023 年度 39 回）発行した。
- 生命保険実学講座や生命保険学習会の受講者、生命保険協会との共催により実施する消費者行政等との意見交換会の参加者等に対して、メールマガジンの案内チラシを配布し、積極的に案内活動を行った。結果、メールマガジン登録者数は、2025 年 3 月末現在で 29,714 名（2024 年 3 月末比 31 名増）となった。

（２）動画による情報提供

- 冊子やホームページで提供している情報をもとに作成した、当センター YouTube 公式チャンネルで公開している各種動画について、講師派遣先や消費生活センター等へ周知を図った。

（３）各種小冊子による情報提供

- 4 冊子を改訂し、税金、年金、介護、生活設計等に関する最新の情報を提供した。
- 2020 年 12 月から開始した電子書籍の販売（Amazon Kindle）を継続した。

[改訂した小冊子の主な改訂内容]

小冊子名	改訂月	主な改訂内容
知っておきたい 生命保険と 税金の知識	4 月	・2024(令和 6)年分所得税・2024(令和 6)年度個人住民税の定額減税の説明を掲載するなど 2024(令和 6)年度の税制改正などを反映。 ・「贈与税の仕組み」について、2023(令和 5)年度税制改正を反映(P9)。

		・「外貨建ての生命保険の税金」の説明を充実(P49)。 ・生命保険と税金 Q&A を追加。 ・掲載データ、事例や帳票見本を最新化。
ねんきんガイド	6 月	・2024(令和 6)年度の年金額・加算額などを反映。 ・産前産後・育児期間における年金保険料免除の説明を充実(P12-13)。 ・事例計算の紙面構成を変更(P14-17)。 ・Q&A や資料編を充実。 ・資料編に「厚生年金保険料額表」(P62)を掲載。 ・掲載データの最新化。
介護保障ガイド	10 月	・公的介護保険制度の改正を反映し、説明を充実(P4、P10-30)。 ・「コラム 高齢者のための住まいの多様化」を新規掲載(P22-23)。 ・「事例で見る介護費用(5 ケース)」を最新化(P26-30)。 ・生命保険会社の介護保険の契約例を最新化(P35、P38)。 ・掲載データの最新化、紙面デザインを統一。
ライフプラン 情報ブック	2 月	・特集「訪日外国人旅行者数の増加」「訪日外国人旅行者の消費額」を新規掲載(P10-11)。 ・「新婚生活の準備のための費用に関するデータ」(P23)、「育児休業の取得期間」(P26)、「世帯年収別の学習費総額の支出者平均額・ライフステージ別の教育費に対する経済的準備手段」(P28)、「ボランティア活動に参加している人の割合」(P56)などを新規掲載。 ・「雇用保険制度の概要」(P15)、「公的年金制度の概要」〔遺族年金(P35)・障害年金(P43)・老齢年金(P46)〕、「公的介護保険制度の概要」(P51)、「出産・育児関係の給付」(P25)、「大学などの教育費をサポートする制度」(P30-31)などの情報を最新化。 ・掲載データの最新化。

[小冊子の提供部数]

(単位:部)

小冊子名	提供部数 (紙+電子書籍)	提供部数 (紙)	うち有償分	電子 書籍
2022 年度 (5 冊子改訂)	129,995	128,765	109,905	1,230
2023 年度 (4 冊子改訂)	99,024	97,860	83,103	1,164
2024 年度 (4 冊子改訂)	100,578	99,559	81,911	1,019
ねんきんガイド	23,813	23,661	20,065	152
知っておきたい生命保険と税金の知識	25,220	24,902	21,255	318
医療保障ガイド	5,593	5,510	5,453	83
ほけんのキホン	9,012	8,962	5,889	50
介護保障ガイド	10,623	10,514	6,915	109
ライフプラン情報ブック	14,094	13,900	10,335	194
定年G o !	5,558	5,504	5,456	54
遺族保障ガイド	6,665	6,606	6,543	59

(4) 相談対応活動

- 相談対応は、消費者からの生命保険に関する相談に対し、公正・中立な立場から情報提供と助言を行うことを目的としている。また、相談内容の集計・分析により消費者相談の傾向を把握し、当センターの情報提供活動に活用するとともに、一般に公表している。相談内容を集計、分析した結果は「生命保険相談レポート」として上期版と年度版の2回発行している。
- 2024年度の相談受付件数は757件で、2023年度（756件）に比べて1件増加した。

[相談受付件数の推移]

	年間累計	前年度比
2022年度	811件	86%
2023年度	756件	93%
2024年度	757件	100%
うち来所	10件	200%

- 当センターでは相談内容を「一般相談」と「生命保険会社の経営に関する相談」に区分している。2024年度の「一般相談」は750件で、2023年度（748件）に比べて2件増加した。「生命保険会社の経営に関する相談」は7件で、2023年度（8件）に比べて1件減少した。
- 「一般相談」の内訳をみると、「生命保険の仕組み・税金・保全に関する相談」の占率が58.8%と最も多く、次いで「生命保険の加入検討の相談」(8.8%)、「既契約の診断・内容確認に関する相談」(7.1%)の順となった（「その他」13.9%を除く上位3項目）。

[一般相談内容の内訳（件数、占率）]

項目 年度	1. 相談 税金・生命・保険の 仕組み・保全に関する	2. 検討 生命保険の加入 の相談	3. 相談 内容 既契約の診断・ 確認に関する	4. 相談 契約条件に関する	5. 関 社会 保障 制度に する 相談	6. 関 既契約の 見直しに する 相談	7. その他	合 計
2022年度	433件 54.0%	66件 8.2%	65件 8.1%	51件 6.4%	23件 2.9%	22件 2.7%	142件 17.7%	802件 100%
2023年度	395件 52.8%	67件 9.0%	66件 8.8%	45件 6.0%	23件 3.1%	24件 3.2%	128件 17.1%	748件 100%
2024年度	441件 58.8%	66件 8.8%	53件 7.1%	46件 6.1%	21件 2.8%	19件 2.5%	104件 13.9%	750件 100%

* 相談内容別件数（一般相談）は、後掲資料編46ページ参照。

(5) 広報活動

① プレスリリースの実施

- 当センターの活動がマスコミに取り上げられることにより、当センターの活動を知っていただき、消費者の生命保険への関心の向上につながることを目的としている。小冊子改訂、中学生作文コンクール及び調査等に関する計8回のプレスリリースの発行を通じて、情報提供を行った。

[プレスリリース発行回数・内訳（全国紙・地方紙）]

	内 訳			合計
	小冊子改訂	中学生作文コンクール	その他	
2022 年度	4 回	2 回	1 回	7 回
2023 年度	3 回	2 回	1 回	6 回
2024 年度	4 回	2 回	2 回	8 回

* プレスリリースは、小冊子改訂、中学生作文コンクール関連（募集・入賞者決定）及び調査等の回数。

② プレスリリースによる全国紙・地方紙への記事掲載について

- 記事掲載数は延べ 182 件（2023 年度計 6 回延べ 151 件）となった。

[プレスリリース記事掲載状況（全国紙・地方紙）]

（単位：件）

		内 訳			合計
		小冊子改訂	中学生作文コンクール	その他	
2022 年度	全国紙	1	1	0	2
	地方紙	61	102	6	169
	合 計	62	103	6	171
2023 年度	全国紙	3	0	1	4
	地方紙	38	103	6	147
	合 計	41	103	7	151
2024 年度	全国紙	5	0	2	7
	地方紙	54	106	15	175
	合 計	59	106	17	182

③ 上記②以外の記事掲載等について

- 記事掲載数は、延べ 130 件（うち新聞 61 件、業界紙 43 件、雑誌 26 件）となった。掲載内容の内訳は、「調査」が 79 件、「講師派遣・小冊子・中学生作文コンクール」が 4 件、「その他」が 47 件だった。
- 2024 年度のテレビ放映は次のとおり。
- ・ 6/8 BS-TBS（生活保障に関する調査）
 - ・ 7/19 テレビ山梨（生活保障に関する調査）
 - ・ 10/13～19 江東区ケーブルテレビ（生命保険学習会）
 - ・ 12/13 テレビ朝日（生命保険に関する全国実態調査）
 - ・ 3/5 NHK（生命保険に関する全国実態調査）

④ その他マスコミからの取材対応

- 当センターの活動内容の周知や消費者への情報提供を目的に、新聞・テレビ等の取材に対応している。
- 新聞・テレビ等からの取材対応は 31 回（2023 年度 15 回）。

[取材内容・件数]

取 材 内 容	新聞	機関紙	テレビ	計
小冊子改訂	7 件	0 件	0 件	7 件
中学生作文コンクール	12 件	0 件	0 件	12 件
全国実態調査等のデータの活用	4 件	1 件	3 件	8 件
その他	3 件	0 件	1 件	4 件
計	26 件	1 件	4 件	31 件

* 取材内容は、後掲資料編 47 ページ参照。

⑤ X（旧 Twitter）による情報発信

- 各種小冊子や消費者啓発動画の公開、中学生作文コンクールに関する情報など、プレスリリースに関する内容を中心に X（旧 Twitter）への投稿を 16 回実施した。

（６）「各社個人保険商品一覧」の作成 〔共益事業〕

- 「各社個人保険商品一覧」は、相談受付時の参考資料として活用することを目的に、各社の個人保険商品の主契約（保険種類別）、特約（各社別）の特徴や仕組み等をまとめ、毎年作成している。
- 毎年 4 月時点で生命保険会社が販売している個人向け商品を収録し（2024 年度は生保 41 社の商品を掲載）、2024 年 8 月下旬に生命保険協会、生命保険協会地方事務室へ、9 月上旬に生命保険会社等へ無償提供した。生命保険会社各社からの申込みに対して、2024 年度は有償で 412 部を提供した。

Ⅱ 学 術 振 興 事 業

〔公益目的事業2、一部共益事業〕

(座長・指導者等の所属は 2024 年度のもの)

1. 保険研究の活性化に向けた取組み

(1) 研究会の運営

① 保険事例研究会＜東京、大阪＞

- 学者、弁護士、業界専門家をメンバーとして、生命保険を中心とした保険全般に関する最新の判例研究を行った。

〔研究会メンバー構成〕

	座 長	学 者	弁 護 士	業 界 専 門 家	合 計
東京	山下 友信 名誉教授 (東京大学)	41 名	29 名	54 名	124 名
大阪	竹瀨 修 特任教授 (立命館大学)	29 名	42 名	6 名	77 名

* 研究会の登録メンバー数は、2025 年 3 月末時点の登録数。以下同じ。

* 東京、大阪ともに、医学的アドバイザー1 名が参加 (業界専門家に含める)。

* 他に傍聴希望者 (東京 34 名、大阪 103 名) が参加。

- 東京及び大阪で各々年間 9 回開催した。
- 研究成果は研究会開催の都度、「保険事例研究会レポート」にとりまとめ、関係各方面に配布した。
 - * 研究会の開催状況は、後掲資料編 48 ページ参照。

② 生保・金融法制研究会＜大阪＞

- 関西の保険法関係の学者と業界専門家をメンバーとして、生命保険・金融に関する法制全般に関する研究を行った。

〔研究会メンバー構成〕

座 長	学 者	業 界 専 門 家	合 計
洲崎 博史 教授 (同志社大学)	11 名	19 名	30 名

- 研究会は 5 回開催した。
 - * 研究会の開催状況は、後掲資料編 49 ページ参照。

③ 生命保険会計研究会 〔共益事業〕

- 会計研究者、アナリスト等の有識者と業界専門家をメンバーとして、国際会計基準審議会 (IASB) における審議等を踏まえつつ、生命保険会計や会計全般に関する研究を行った。

〔研究会メンバー構成〕

座 長	学 者	有 識 者	業 界 専 門 家	合 計
弥永 真生 専任教授 (明治大学)	8 名	2 名	8 名	18 名

- 研究会は 5 回開催した。
 - * 研究会の開催状況は、後掲資料編 49 ページ参照。

④ 生保関係法制研究会＜東京＞

- 関東を中心とした保険法関係の学者と業界専門家をメンバーとして、生命保険を中心とした金融関連法に関する研究を行った。

〔研究会メンバー構成〕

座 長	学 者	業 界 専 門 家	合 計
野村 修也 教授 (中央大学)	18 名	10 名	28 名

- 研究会は6回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 49 ページ参照。

⑤ 生命保険基本判例研究会 【共益事業】

- 保険法学者、弁護士を指導者とし、生保各社の支払査定部門・契約審査部門・法務部門・商品開発部門等を担う中堅職員をメンバーとして、基本的な保険判例の理解力と生命保険約款解釈の基礎的能力の向上を図り、次代を担う中堅職員の育成を目指して基本的な判例の研究を行った。
- 運営にあたっては、質問担当会社を設定するなどの工夫を行い、討議の活性化に注力している。

[研究会メンバー構成]

指 導 者	学 者	弁 護 士	業界担当者	合 計
潘 阿憲 教授（法政大学） 山下 典孝 教授（青山学院大学） 遠山 聡 教授（専修大学） 岡野谷 知広 弁護士（河村法律事務所）	3 名	1 名	52 名	56 名

- 研究会は8回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 50 ページ参照。

⑥ 家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会 【共益事業】

- 多様なライフコースを前提とした生命保険の役割、市場、商品や加入経路等の変化を捉えるべく、代表的な標準モデルではない層（生涯独身者や離別者など）にも着目し、必要とする保障や支援について幅広く考えるべく、研究を行った。

[研究会メンバー構成]

座 長	学 者	業界専門家	合 計
山田 昌弘 教授（中央大学）	7 名	7 名	14 名

- 研究会設置期間：2023 年 4 月～2025 年 3 月
- 研究会は5回開催した。
* 研究会の開催状況は、後掲資料編 50 ページ参照。

⑦ 新研究会の発足準備【新規】 【共益事業】

- 消費者の生活保障における「プロテクションギャップの最小化」に向けて、生命保険業界がコミットする社会的な望ましさに向けた分析と提案を行い、今後の日本社会における新たな価値を提示することを目的とした研究会を 2025 年 4 月から発足すべく準備を行い、以下の内容で実施することを決定した。
 - ・研究会名称 生活保障におけるプロテクションギャップと生命保険事業に関する研究会
 - ・座長 田中 隆 教授（兵庫県立大学）
 - ・研究会設置期間 2025 年 4 月～2027 年 3 月

（２）研究者への支援

① 研究助成

- 生命保険及びこれに関連する分野の研究支援を目的として、若手研究者及び一般研究者（教授等）を対象に募集を行い、学術振興委員会で審議のうえ、若手研究者 7 件、一般研究者 6 件の計 13 件（うち共同研究 1 件）に対して助成金を支給した。
* 研究助成者・研究テーマの一覧は、後掲資料編 51～52 ページ参照。

- 2022 年度研究助成者の成果論文について学術振興委員会で審議のうえ、研究奨励賞 1 編を選定した。また、以下のとおり、受賞者による研究報告会を実施するとともに、表彰式を開催し、顕彰した。
 - ・開催日 2024 年 11 月 26 日
 - ・参加者数 36 名（うち学者 13 名、業界 23 名）
 - ・会場 大手町サンケイプラザ
 - * 受賞者・受賞論文は、後掲資料編 52 ページ参照。

② 大学ゼミナール活動への支援

- 東京学生保険ゼミナールに対し、活動経費の支援を行った。
 - * 参加校：慶應義塾大学、専修大学、東洋大学、明治大学、早稲田大学（50 音順掲載）
- 全国学生保険学ゼミナール [Risk and Insurance Seminar ; RIS] に対し、活動経費の支援を行った。
 - * 参加校：関西大学、九州産業大学、京都産業大学、慶應義塾大学、上智大学、西南学院大学、拓殖大学、中央大学、同志社女子大学、東洋大学、長崎県立大学、日本大学、福岡大学、明治大学、早稲田大学（50 音順掲載）
- 独自に報告会を開催した大学ゼミナール(1 ゼミ)に対し、活動経費の支援を行った。

③ 若手研究者の発掘・育成（支援）

- 研究助成への応募案内や実学講座の紹介、保険学セミナーへの参加案内を行い、若手研究者との関係構築・強化への取組みを行った。
- 大学研究者に若手の保険（周辺分野）研究者の裾野を広げるための方策についてヒアリングを実施し、研究助成の SNS を通じた募集等、実行可能な方策を実施した。

（3）学術振興委員会

- 2024 年 5 月に、2024 年度研究助成者の審議及び 2022 年度研究助成者の成果論文に対する評価を行った。
- 2024 年 11 月に、次年度研究助成の募集要項に関する検討を行った。

2. 学術交流の促進に向けた取組み

（1）保険学セミナー・保険学セミナー懇談会＜東京、大阪＞

- 大学研究者及び業界関係者をメンバーとして、保険学セミナー及び保険学セミナー懇談会を東京及び大阪で各々年間 6 回開催した。
- 保険学セミナーは大学研究者の研究発表・討議の場、保険学セミナー懇談会は大学研究者に対する業界情報の提供の場として運営した。
- 運営にあたっては、討議の活性化、魅力度の向上を図るべく、事前質問制度の活用や中堅教授による報告回数を増やすなど、運営面について幅広く検討・工夫を行った。
- 若手研究者の育成（支援）の一環として、研究助成者に報告の機会を提供した。

[セミナー会員構成]

	幹 事	学 者	業界関係者	合 計
東京	得津 晶 教授（一橋大学） 柳瀬 典由 教授（慶應義塾大学）	139 名	71 名	210 名
大阪	原 弘明 教授（関西大学） 石田 成則 教授（関西大学）	89 名	23 名	112 名

* セミナー会員数は 2025 年 3 月末時点の会員数。

* 保険学セミナー・同懇談会の開催状況は、後掲資料編 53～54 ページ参照。

(2) 講演会

① 公開講演会 【共益事業】

- 一般消費者及び生命保険業界関係者を対象に、生命保険及び関連分野に関する動向などの情報提供を目的に以下のとおり公開講演会を開催した。
 - ・開催日 2025 年 2 月 13 日
 - ・テーマ 全世代型社会保障の時代における社会保障改革の動向
 - ・講師 菊池 馨実 氏（早稲田大学理事・法学学術院教授）
 - ・参加者数 364 名（うち一般 258 名、生命保険業界 106 名）
* オンライン参加 330 名、対面参加 34 名
 - ・開催方法 対面とオンライン（Zoom ウェビナー）の併用開催

② 海外の有識者による講演会等

- 2024 年度は開催なし。

3. 情報提供活動

(1) 生命保険論集

- 保険学の発展に資することを目的に、生命保険を中心とした保険全般に関する研究論文集を発行している。2024 年度は、6 月、9 月、12 月、3 月の年 4 回発行した。
- 学者、業界関係者、関係諸機関を対象に 387 部を毎号無償で配布したほか、有料の購読会員を募集した結果、441 名の申込みがあった。
- 当センター主催の研究会等での報告から 3 編を「生命保険論集」に掲載した。
* 掲載状況は、後掲資料編 55 ページ参照。
- 6 月号において、2024 年 1 月に開催した公開講演会の講演録 1 編を掲載した。
- 2024 年 10 月、当センターホームページの「学術出版物検索・閲覧」に、2023 年度発行分を追加掲載し閲覧できるようにした（毎年 10 月、前年度発行分を追加掲載）。
- 2023 年度発行分を J-Stage へ掲載した。

(2) 生命保険判例集

- 生命保険判例の提供を通じ、保険法の研究、保険会社の実務やコンプライアンス推進に資することを目的に、2019～2020 年の判例 85 件を収録した「生命保険判例集第 28 巻」を、2025 年 3 月に CD-ROM で発行した。
- 「生命保険判例集第 29 巻」以降の発行準備作業を進めた（第 29 巻は 2021 年の判例を収録、2025 年度中に発行予定）。

(3) 保険事例研究会レポート

- 学界、法曹界、生命保険業界等で実務・理論両面に資することを目的とした保険事例研究会（16 ページ）の成果をレポート形式にまとめ、保険事例研究会実施後発行した（年 9 回）。
- 保険事例研究会参加の学者、弁護士、生命保険会社各社、及び最高裁判所等の関係諸機関を対象に 316 部を毎号無償で配布したほか、有料の購読会員を募集した結果、451 名の申込みがあった。
- 2024 年 10 月、当センターホームページの「学術出版物検索・閲覧」に、2023 年度発行分を追加掲載し閲覧できるようにした（毎年 10 月、前年度発行分を追加掲載）。

(4) WEB 版「生命保険用語英和・和英辞典」のメンテナンス

- WEB 版「生命保険用語英和・和英辞典」では、新規語・修正語について随時内容を検討し、2 項目を掲載（修正・追加含む）した。

4. 関連諸学会との連携

生命保険経営学会との連携

- 生命保険業界関係者を中心とする生命保険経営学会との連携を通じ、生命保険経営の理論・研究への支援を行った。

Ⅲ 調査・研究活動

〔公益目的事業3〕

1. 調査活動

(1) 「生命保険に関する全国実態調査」(第21回)の実施

- 一般家庭における生命保険の加入実態を中心に、生活保障に対する意識等も含め時系列で把握することを目的に、1965年から3年毎に実施している。
- 2024年度から、国内世帯の3分の1以上が単身世帯となっているといった世帯構造の変化を踏まえ、既存の2人以上世帯を対象とする調査に加え、新たに単身世帯を対象とする調査も実施した。
- 2024年4～5月に調査を実施し、2025年1月に報告書をWeb版としてホームページに掲載した。また、主要な属性別の集計表もあわせてホームページに掲載した。

[2024年度調査の調査設計]

<2人以上世帯>

- | | |
|-----------|------------------|
| (1) 調査地域 | 全国(400地点) |
| (2) 調査対象 | 世帯員2人以上の一般世帯 |
| (3) 回収目標数 | 4,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 留置調査(訪問留置、訪問回収法) |
| (6) 調査時期 | 2024年4月5日～5月26日 |

<単身世帯>

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査地域 | 全国 |
| (2) 調査対象 | 単身世帯 20～79歳男女 |
| (3) 回収目標数 | 2,200 |
| (4) 抽出方法 | 調査会社のモニター(性別×年齢階級×地域区分の構成比を人口統計(令和2年度国勢調査)の構成比に合わせる) |
| (5) 調査方法 | インターネット調査 |
| (6) 調査時期 | 2024年4月5日～4月9日 |

[主な調査内容]

生命保険の加入実態

1. 生命保険(個人年金保険を含む)の加入状況
加入率、加入件数、加入金額、生命保険の世帯年間払込保険料
2. 個人年金保険と年金型商品の加入状況
個人年金保険と年金型商品の加入率
3. 民間生命保険の特定の保障機能を持つ生命保険や特約の加入状況
ガン保険・ガン特約等の加入率
4. 直近加入の生命保険(個人年金保険を含む)
直近加入の民間生命保険の加入状況
5. 民間生命保険の解約・失効の状況
解約・失効の経験、解約・失効の理由

生活保障に対する意識

1. 加入保障内容の充足感
加入保障内容の充足感、支出可能保険料

2. 生活保障に対する考え方

世帯主に万一のことなどがあった場合の経済的備え

3. 生命保険（個人年金保険を含む）の今後の加入・追加加入意向

加入・追加加入意向の有無

[主な調査結果]

- 生命保険（個人年金保険を含む）の世帯加入率は2人以上世帯では89.2%と前回調査とほぼ同水準、単身世帯では45.6%
- 2人以上世帯における民保加入世帯の医療保険の世帯加入率は95.1%、前回調査と比べ1.5ポイント増加
- 2人以上世帯における世帯普通死亡保険金額は平均1,936万円であり、引き続き低下傾向
- 2人以上世帯における生命保険（個人年金保険を含む）の世帯年間払込保険料は平均35.3万円と前回調査とほぼ同水準
- 個人年金保険の世帯加入率は2人以上世帯では23.2%、単身世帯では18.0%
- 期待できる経済的準備手段は、2人以上世帯では、「万一」と「入院」では「生命保険」が最も多いが、単身世帯はどの保障領域においても「預貯金・貸付信託・金銭信託」が最も多い
- 直近加入契約の加入チャネルで最も多いのは、2人以上世帯、単身世帯ともに「生命保険会社の営業職員」
- 加入意向のあるチャネルは、2人以上世帯では「生命保険会社の営業職員」が27.3%と最も多いのに対し、単身世帯は「通信販売」が35.2%と最も多い

（2）「生活保障に関する調査」（第17回）の企画・検討

- 社会環境の変化に伴う生活保障意識や保障準備の実態を時系列に把握することを目的に、1987年から3年毎に実施している。
- 2024年度は、2025年4～5月の本調査の実施に向け、調査内容の検討及び調査質問票の策定を行った。2025年度調査の調査設計及び調査内容は以下のとおりである。

[調査設計]

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 調査地域 | 全国（400地点） |
| (2) 調査対象 | 18～79歳の男女個人 |
| (3) 回収目標数 | 4,800 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 面接調査（一部留置） |
| (6) 調査時期 | 2025年4月～5月 |

[主な調査内容]

1. 生活設計と生活保障意識

生活設計の有無、将来考えられる経済的リスク、生活保障リスクの直接的・間接的な経験の有無、現在と将来の健康状態・運動習慣・食習慣

2. 医療保障

公的医療保険に対する意識、医療保障としての生命保険、医療保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向、過去5年間の入院経験

3. 老後保障

公的年金に対する意識、老後保障としての生命保険、老後保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向、老後生活に対する意識

4. 死亡保障

公的死亡保障に対する意識、死亡保障としての生命保険、死亡保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向

5. 介護保障

公的介護保険に対する意識、介護保障としての生命保険、介護保障に対する私的準備状況・充足感・今後の準備意向、自分の介護に対する意識

6. その他

直近加入契約の状況、今後の加入意向、生命保険の加入状況、金融・保険に関する知識量

(3) 個票データの学術的活用の促進

- 保険及びその周辺分野の研究インフラとして活用することを目的に、当センターホームページ上にデータ利用申請に関する情報を掲載した。
- あわせて、研究の質の向上及び当該分野における研究の裾野の拡充に寄与することを目的に、学部生や修士課程の大学院生を対象に個票データを用いた懸賞論文の募集を行い、学術振興委員による審査を経て、優秀論文1件を決定した（表彰式は2025年度に開催予定）。

* 優秀論文受賞者・受賞論文は、後掲資料編56ページ参照。

2. 研究機能の強化

研究活動

- 当センター内の研究体制の基礎固めに注力し、2024年4月開催の保険学セミナー懇談会（東京、大阪）において、「ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」の調査結果について概要報告を行った。

IV 諸 会 議 開 催 状 況

1. 評議員会

(1) 2024 年 6 月 28 日開催 定時評議員会

【決議事項】

2023 年度第 13 期決算報告書
評議員選任
理事選任
について、原案どおり承認された。

【報告事項】

2023 年度第 13 期事業報告書

【選定事項】

評議員会会長選定

【2024 年度定時評議員会の議事録署名人選出】

(2) 2025 年 3 月 24 日（決議の省略）

議案 評議員及び理事補欠選任

評議員会の目的である議案について、2025 年 3 月 24 日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たため、当該議案を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

2. 理事会

(1) 2024 年 6 月 7 日開催 第 1 回通常理事会

【決議事項】

第 1 号議案 2023 年度第 13 期事業報告書
第 2 号議案 2023 年度第 13 期決算報告書
第 3 号議案 内閣府への事業報告等に係る提出書類
第 4 号議案 2024 年度定時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項
について、いずれも原案どおり議決された。

【報告事項】

代表理事の職務執行状況報告

(2) 2024 年 11 月 8 日（決議の省略）

議案 2024 年度補正予算

理事会の目的である議案について、2024 年 11 月 8 日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、また監事の全員から書面により異議がない旨の意思表示を得たため、当該議案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

(3) 2025 年 2 月 7 日開催 第 2 回通常理事会

【決議事項】

第 1 号議案 第 15 期[2025 年度]事業計画書

第 2 号議案 第 15 期[2025 年度]予算

について、いずれも原案どおり議決された。

【報告事項】

2024 年度上期監査結果報告

代表理事の職務執行状況報告

(4) 2025 年 3 月 14 日（決議の省略）

議案 評議員会（決議の省略）の開催について

理事会の目的である議案について、2025 年 3 月 14 日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、また監事の全員から書面により異議がない旨の意思表示を得たため、当該議案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

□ □ □ □ □ □ 資 料 編 □ □ □ □ □ □

1. 第62回中学生作文コンクール都道府県別応募状況・入賞者数一覧

都道府県	応 募 状 況		
	応募校数	応募数	
		学校応募	個人応募
北海道	32	873	1
青森県	17	297	
岩手県	6	75	
宮城県	12	66	
秋田県	9	51	1
山形県	4	151	
福島県	27	709	
茨城県	11	311	
栃木県	11	359	1
群馬県	21	434	
埼玉県	46	993	1
千葉県	45	1,353	3
東京都	54	1,845	15
神奈川県	25	623	3
新潟県	4	18	1
富山県	20	356	
石川県	4	11	1
福井県	9	183	
山梨県	2	14	
長野県	20	687	1
岐阜県	10	603	
静岡県	28	1,239	2
愛知県	33	1,454	2
三重県	9	197	
滋賀県	27	1,015	
京都府	25	754	2
大阪府	19	2,220	1
兵庫県	17	329	2
奈良県	9	138	
和歌山県	7	328	
鳥取県	13	346	
島根県	4	84	
岡山県	17	288	1
広島県	23	1,133	
山口県	16	495	
徳島県	11	589	
香川県	6	41	
愛媛県	10	171	
高知県	5	88	
福岡県	28	1,661	1
佐賀県	14	597	
長崎県	6	216	
熊本県	24	1,287	
大分県	6	90	
宮崎県	7	252	
鹿児島県	17	182	
沖縄県	9	996	
合 計	779	26,241	

入 賞 者 数								
文部科学 大臣賞	全日本中 学校長会 賞	生命保険 文化セン ター賞	優秀賞	都道府県別生命保険文化センター賞				入賞者数 合 計
				1等	2等	3等	佳作	
		1		1	4	7	30	43
				1	1	2	8	12
				1			2	3
				1	1		3	5
							2	2
				1		1	6	8
				1	7	4	13	25
			1	1	2		8	12
				1	2	3	10	16
				1		2	14	17
			1	1	7	5	27	41
				1	10	6	32	49
				1	10	11	42	64
				1	6	4	20	31
							1	1
1				1	3	3	12	20
				1			1	2
				1		1	5	7
					2		2	4
				1	3	4	28	36
				1	7	3	15	26
				1	6	5	37	49
	1			1	9	9	32	52
				1		1	4	6
			1	1	4	7	26	39
			1	1	5	6	18	31
				1	8	10	42	61
				1		2	17	20
			1	1			2	4
				1	4	1	6	12
				1	6	2	7	16
					1		3	4
				1	4	3	8	16
				1	1	4	40	46
				1	6	3	15	25
				1	5	8	16	30
							2	2
				1			7	8
				1			5	6
				1	8	9	37	55
				1	1	5	17	24
				1	1	1	8	11
				1	5	6	31	43
							1	1
				1			6	7
				1		1	3	5
				1		5	18	24
1	1	1	5	41	139	144	689	1,021

2. 生命保険実学講座開催状況一覧

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
1	4月15日	岡山県	岡山大学	生活設計とリスク管理	85
2	4月16日	兵庫県	兵庫県立大学	生活設計とリスク管理	75
3	4月16日	栃木県	宇都宮大学	生活設計とリスク管理	99
4	4月16日	群馬県	群馬大学	生活設計とリスク管理	68
5	4月16日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	140
6	4月18日	長野県	信州大学	生活設計とリスク管理	95
7	4月19日	沖縄県	琉球大学	生活設計とリスク管理	150
8	4月22日	北海道	小樽商科大学	生活設計とリスク管理	102
9	4月22日	新潟県	新潟大学	生活設計とリスク管理	82
10	4月23日	大阪府	近畿大学	生命保険の基礎知識	138
11	4月24日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	212
12	4月24日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	212
13	4月24日	東京都	東京都立小平南高等学校	成年になるということ	39
14	4月24日	東京都	東京都立小平南高等学校	成年になるということ	38
15	4月24日	東京都	東京都立小平南高等学校	成年になるということ	38
16	4月24日	東京都	東京都立小平南高等学校	成年になるということ	35
17	4月24日	東京都	東京都立小平南高等学校	成年になるということ	36
18	4月24日	東京都	東京都立小平南高等学校	成年になるということ	37
19	4月24日	東京都	東京都立小平南高等学校	成年になるということ	40
20	4月25日	京都府	京都産業大学	生命保険の基礎知識	62
21	5月10日	愛知県	名古屋学院大学	公的年金と個人年金	116
22	5月13日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	26
23	5月13日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
24	5月13日	北海道	北海道えりも高等学校	君とみらいとライフプラン	28
25	5月13日	北海道	北海道えりも高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	28
26	5月14日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	36
27	5月14日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
28	5月14日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	34
29	5月14日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
30	5月14日	東京都	愛国学園短期大学	君とみらいとライフプラン	30
31	5月14日	東京都	東京都立桜町高等学校	自助・共助・公助について考えよう	6
32	5月15日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	8
33	5月15日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
34	5月15日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
35	5月15日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	9
36	5月15日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	28
37	5月15日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
38	5月16日	香川県	香川大学	生活設計とリスク管理	49
39	5月16日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	36
40	5月16日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
41	5月16日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	35
42	5月16日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
43	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	23
44	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	23
45	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	34
46	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
47	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	35
48	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
49	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	君とみらいとライフプラン	36
50	5月17日	東京都	目黒日本大学高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
51	5月17日	愛知県	名古屋学院大学	医療保険と介護保険	106
52	5月20日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
53	5月21日	大阪府	追手門学院大学	生活設計とリスク管理	55
54	5月22日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
55	5月22日	大阪府	大阪府立成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
56	5月23日	三重県	英心高等学校	自助・共助・公助について考えよう	52

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
57	5月25日	愛知県	名古屋女子大学中学校	君とみらいとライフプラン	62
58	5月25日	愛知県	名古屋女子大学中学校	生活設計とリスクへの備え	62
59	5月28日	埼玉県	埼玉大学	リスクに備える	48
60	5月28日	山口県	下関市立大学	生命保険と税金の知識	61
61	5月29日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	20
62	5月29日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	22
63	5月29日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	23
64	5月29日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	19
65	5月29日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	22
66	5月29日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	24
67	5月29日	東京都	東京都立羽村高等学校	成年になるということ	24
68	6月3日	大阪府	近畿社会福祉専門学校	生活設計とリスク管理	51
69	6月4日	東京都	成城大学	生活設計とリスク管理	92
70	6月4日	兵庫県	流通科学大学	生活設計とリスク管理	150
71	6月5日	大分県	大分大学	生命保険と税金の知識	48
72	6月11日	岐阜県	岐阜県立海津明誠高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
73	6月11日	東京都	専修大学	生活設計とリスク管理	88
74	6月11日	兵庫県	流通科学大学	生命保険の基礎知識	150
75	6月12日	千葉県	敬愛大学	生命保険の基礎知識	10
76	6月12日	茨城県	茨城県立鹿島灘高等学校	成年になるということ	10
77	6月12日	茨城県	茨城県立鹿島灘高等学校	成年になるということ	24
78	6月12日	大分県	大分大学	生活設計とリスク管理	53
79	6月13日	東京都	日本大学	生活設計とリスク管理	41
80	6月14日	石川県	金沢星稜大学	生活設計とリスク管理	23
81	6月14日	岡山県	岡山大学	生活設計とリスク管理	75
82	6月17日	大阪府	大阪社会福祉専門学校	生活設計とリスク管理	45
83	6月17日	東京都	東京理科大学	リスクに備える	47
84	6月17日	東京都	明治学院大学	リスクに備える	102
85	6月18日	山梨県	都留文科大学	生活設計とリスク管理	97
86	6月18日	山梨県	都留文科大学	生活設計とリスク管理	82
87	6月19日	福井県	仁愛女子短期大学	君とみらいとライフプラン	44
88	6月19日	福井県	仁愛女子短期大学	君とみらいとライフプラン	43
89	6月19日	東京都	明治大学	リスクに備える	238
90	6月20日	東京都	東京都立小山台高等学校	君とみらいとライフプラン	12
91	6月20日	東京都	東京都立小山台高等学校	生活設計とリスクへの備え	12
92	6月20日	東京都	日本大学	リスクに備える	430
93	6月21日	東京都	慶應義塾大学	生命保険の基礎知識	11
94	6月21日	大阪府	近畿大学	生命保険の基礎知識	52
95	6月22日	京都府	R I S 関西	医療保険と介護保険	59
96	6月24日	神奈川県	鎌倉女子大学	生活設計とリスク管理	13
97	6月24日	神奈川県	鎌倉女子大学	生命保険の基礎知識	7
98	6月24日	大阪府	関西大学	生活設計とリスク管理	73
99	6月25日	東京都	明治大学	公的年金と個人年金	44
100	6月26日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	15
101	6月26日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	17
102	6月26日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	19
103	6月26日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	18
104	6月26日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	12
105	6月26日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	14
106	6月26日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	22
107	6月26日	兵庫県	神戸親和大学	リスクに備える	38
108	6月27日	三重県	英心高等学校	生活設計とリスクへの備え	52
109	6月27日	大分県	東九州短期大学	生活設計とリスク管理	26
110	7月1日	徳島県	四国大学	公的年金と個人年金	62
111	7月2日	大阪府	寝屋川市立第七中学校	リスクに備える	33
112	7月2日	大阪府	寝屋川市立第七中学校	リスクに備える	34
113	7月2日	大阪府	寝屋川市立第七中学校	リスクに備える	28
114	7月2日	大分県	大分県立安心院高等学校	生活設計とリスクへの備え	20

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
115	7月2日	大分県	大分県立安心院高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
116	7月2日	大分県	大分県立安心院高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
117	7月2日	愛知県	愛知学院大学	生命保険の基礎知識	138
118	7月2日	長野県	長野大学	リスクに備える	49
119	7月2日	徳島県	四国大学	生活設計とリスクへの備え	7
120	7月2日	千葉県	淑徳大学	生命保険の基礎知識	65
121	7月2日	京都府	京都先端科学大学	生活設計とリスク管理	87
122	7月3日	大分県	大分県立安心院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	29
123	7月3日	大分県	大分県立安心院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	20
124	7月3日	長野県	長野県立大学	リスクに備える	123
125	7月4日	東京都	実践女子大学	リスクに備える	121
126	7月4日	東京都	明星大学	リスクに備える	21
127	7月5日	大分県	大分県立安心院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	21
128	7月5日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	204
129	7月8日	香川県	香川大学	生命保険の基礎知識	26
130	7月8日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
131	7月8日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
132	7月8日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
133	7月8日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
134	7月9日	宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	事例から考えるリスクマネジメント	32
135	7月9日	宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	事例から考えるリスクマネジメント	33
136	7月9日	宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	事例から考えるリスクマネジメント	33
137	7月9日	宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	事例から考えるリスクマネジメント	23
138	7月9日	愛知県	愛知教育大学	生活設計とリスク管理	6
139	7月9日	静岡県	浜松学院大学	生活設計とリスク管理	23
140	7月9日	京都府	京都先端科学大学	生命保険の基礎知識	79
141	7月11日	山梨県	山梨大学	生活設計とリスク管理	70
142	7月12日	埼玉県	埼玉県立岩槻高等学校	成年になるということ	854
143	7月12日	東京都	東京都立瑞穂農芸高等学校	成年になるということ	157
144	7月16日	長野県	佐久長聖中学校	リスクに備える	112
145	7月16日	和歌山県	和歌山県立桐蔭中学校	リスクに備える	76
146	7月16日	北海道	羽幌町立焼尻中学校	リスクに備える	1
147	7月17日	長野県	佐久長聖中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	95
148	7月17日	東京都	日本女子大学	生活設計とリスク管理	11
149	7月17日	富山県	富山県立大門高等学校	君とみらいとライフプラン	106
150	7月17日	富山県	富山県立大門高等学校	生活設計とリスクへの備え	106
151	7月18日	大分県	佐伯市立直川中学校	成年になるということ	24
152	7月18日	長野県	佐久長聖中学校	リスクに備える	86
153	7月18日	三重県	英心高等学校	成年になるということ	53
154	7月18日	鹿児島県	鹿児島女子短期大学	生活設計とリスク管理	11
155	7月23日	大阪府	城南学園中学校	リスクに備える	13
156	7月26日	岡山県	岡山商科大学	リスクに備える	26
157	7月31日	熊本県	熊本大学	生活設計とリスク管理	5
158	8月19日	埼玉県	星槎学園高等部	成年になるということ	12
159	8月22日	岐阜県	帝京大学可児中学校	リスクに備える	54
160	8月22日	岐阜県	帝京大学可児中学校	成年になるということ	54
161	8月26日	千葉県	和洋女子大学	生命保険の基礎知識	189
162	8月30日	沖縄県	宜野湾市立嘉数中学校	成年になるということ	112
163	8月30日	沖縄県	宜野湾市立嘉数中学校	成年になるということ	109
164	9月4日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	31
165	9月4日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	28
166	9月4日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	33
167	9月4日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	32
168	9月5日	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	自助・共助・公助について考えよう	388
169	9月6日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	33
170	9月9日	大阪府	大阪府立水都国際中学校	成年になるということ	39
171	9月9日	大阪府	大阪府立水都国際中学校	成年になるということ	40
172	9月9日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	28

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
173	9月9日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	君とみらいとライフプラン	37
174	9月9日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
175	9月9日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	君とみらいとライフプラン	34
176	9月9日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
177	9月10日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	31
178	9月10日	神奈川県	神奈川県立相模原城山高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	32
179	9月12日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	君とみらいとライフプラン	38
180	9月12日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
181	9月12日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	君とみらいとライフプラン	37
182	9月12日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
183	9月12日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	君とみらいとライフプラン	33
184	9月12日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
185	9月13日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	君とみらいとライフプラン	27
186	9月13日	新潟県	新潟県立新発田農業高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
187	9月17日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	君とみらいとライフプラン	38
188	9月17日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
189	9月17日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	君とみらいとライフプラン	37
190	9月17日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
191	9月17日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
192	9月17日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
193	9月18日	熊本県	熊本県立高森高等学校	君とみらいとライフプラン	64
194	9月18日	熊本県	熊本県立高森高等学校	生活設計とリスクへの備え	64
195	9月18日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
196	9月18日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
197	9月19日	兵庫県	兵庫県立神戸甲北高等学校	君とみらいとライフプラン	27
198	9月19日	兵庫県	兵庫県立神戸甲北高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
199	9月19日	埼玉県	文京学院大学	生活設計とリスク管理	65
200	9月20日	兵庫県	兵庫県立神戸甲北高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
201	9月24日	兵庫県	兵庫県立神戸甲北高等学校	君とみらいとライフプラン	30
202	9月24日	大阪府	関西大学	生活設計とリスク管理	257
203	9月25日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
204	9月25日	愛知県	日本福祉大学	生活設計とリスク管理	120
205	9月26日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
206	9月26日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
207	9月26日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
208	9月26日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
209	9月26日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
210	9月26日	京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校	成年になるということ	39
211	9月27日	東京都	東京都立国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
212	9月27日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
213	9月27日	京都府	京都府立洛北高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
214	9月30日	大阪府	大阪公立大学	生活設計とリスク管理	608
215	10月1日	大阪府	関西大学	生命保険の基礎知識	267
216	10月2日	埼玉県	十文字学園女子大学	生活設計とリスク管理	17
217	10月2日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	君とみらいとライフプラン	28
218	10月2日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
219	10月2日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	君とみらいとライフプラン	34
220	10月2日	茨城県	茨城県立勝田工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
221	10月2日	愛知県	日本福祉大学	公的年金と個人年金	120
222	10月3日	京都府	京都教育大学	生活設計とリスク管理	22
223	10月3日	埼玉県	文京学院大学	医療保険と介護保険	35
224	10月4日	茨城県	茨城大学	生活設計とリスク管理	50
225	10月8日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
226	10月8日	滋賀県	滋賀大学	生活設計とリスク管理	64
227	10月9日	愛知県	中京大学	生活設計とリスク管理	20
228	10月9日	千葉県	千葉大学	生活設計とリスク管理	239
229	10月9日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	39
230	10月10日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	63

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
231	10月10日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	成年になるということ	40
232	10月10日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	38
233	10月10日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
234	10月11日	北海道	札幌大学	生活設計とリスク管理	98
235	10月11日	島根県	島根大学	生活設計とリスク管理	46
236	10月11日	沖縄県	琉球大学	生活設計とリスク管理	112
237	10月15日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	君とみらいとライフプラン	24
238	10月15日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
239	10月15日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	君とみらいとライフプラン	21
240	10月15日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
241	10月15日	大阪府	近畿大学	ほけんのキホン for Beginners	172
242	10月16日	広島県	広島県立総合技術高等学校	成年になるということ	199
243	10月16日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	38
244	10月16日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	39
245	10月16日	愛知県	愛知県立犬山総合高等学校	ほけんのキホン for Beginners	108
246	10月16日	静岡県	静岡県立湖西高等学校	リスクに備える	126
247	10月16日	埼玉県	埼玉大学	生活設計とリスク管理	16
248	10月16日	広島県	広島大学	生活設計とリスク管理	75
249	10月18日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	君とみらいとライフプラン	23
250	10月18日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	生活設計とリスクへの備え	23
251	10月18日	北海道	札幌大学	生命保険の基礎知識	98
252	10月18日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	39
253	10月18日	東京都	東京都立狛江高等学校	ほけんのキホン for Beginners	39
254	10月21日	佐賀県	九州龍谷短期大学	生活設計とリスク管理	36
255	10月22日	北海道	北海道長沼高等学校	君とみらいとライフプラン	36
256	10月22日	北海道	北海道長沼高等学校	ほけんのキホン for Beginners	37
257	10月22日	神奈川県	神奈川県立津久井高等学校	ほけんのキホン for Beginners	5
258	10月23日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
259	10月23日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	38
260	10月23日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
261	10月24日	熊本県	熊本大学	生活設計とリスク管理	38
262	10月24日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	ほけんのキホン for Beginners	57
263	10月24日	愛知県	愛知県立安城南高等学校	ほけんのキホン for Beginners	41
264	10月24日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
265	10月24日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	36
266	10月24日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	37
267	10月24日	広島県	広陵高等学校	成年になるということ	383
268	10月24日	沖縄県	沖縄リハビリテーション福祉学院	生活設計とリスク管理	26
269	10月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	40
270	10月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	38
271	10月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	38
272	10月25日	福岡県	福岡県立城南高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
273	10月28日	愛知県	愛知文教女子短期大学	生活設計とリスク管理	20
274	10月28日	埼玉県	埼玉県立三郷北高等学校	君とみらいとライフプラン	35
275	10月28日	埼玉県	埼玉県立三郷北高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
276	10月28日	埼玉県	埼玉県立三郷北高等学校	君とみらいとライフプラン	34
277	10月28日	埼玉県	埼玉県立三郷北高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
278	10月28日	埼玉県	埼玉県立三郷北高等学校	君とみらいとライフプラン	30
279	10月28日	埼玉県	埼玉県立三郷北高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
280	10月29日	宮崎県	南九州大学短期大学部	生活設計とリスク管理	37
281	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	33
282	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
283	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	34
284	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
285	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	32
286	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
287	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	30
288	10月30日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
289	10月30日	岡山県	岡山県立玉島商業高等学校	成年になるということ	145
290	10月30日	東京都	明治大学	リスクに備える	170
291	10月31日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	29
292	10月31日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
293	10月31日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
294	10月31日	愛知県	愛知県立名古屋工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
295	10月31日	山梨県	帝京福祉専門学校	生活設計とリスク管理	29
296	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	29
297	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
298	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	29
299	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
300	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	32
301	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
302	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	14
303	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	14
304	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	43
305	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	43
306	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
307	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
308	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	38
309	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
310	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	39
311	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
312	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	30
313	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
314	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	30
315	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
316	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	33
317	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
318	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	30
319	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
320	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	30
321	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
322	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	32
323	10月31日	兵庫県	彩星工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
324	10月31日	鳥取県	公立鳥取環境大学	リスクに備える	24
325	11月1日	佐賀県	西九州大学短期大学部	生活設計とリスク管理	60
326	11月1日	愛知県	中京大学	生命保険の基礎知識	40
327	11月5日	千葉県	成田国際福祉専門学校	生活設計とリスク管理	26
328	11月5日	大阪府	関西大学	医療保険と介護保険	233
329	11月5日	北海道	北海道旭川東高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	42
330	11月6日	高知県	高知市立高知商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	262
331	11月7日	茨城県	茨城県立牛久高等学校	君とみらいとライフプラン	43
332	11月7日	茨城県	茨城県立牛久高等学校	生活設計とリスクへの備え	43
333	11月7日	東京都	学習院女子高等科	事例から考えるリスクマネジメント	33
334	11月7日	東京都	学習院女子高等科	事例から考えるリスクマネジメント	35
335	11月7日	東京都	学習院女子高等科	事例から考えるリスクマネジメント	33
336	11月8日	茨城県	茨城県立神栖高等学校	成年になるということ	113
337	11月8日	東京都	学習院女子高等科	事例から考えるリスクマネジメント	30
338	11月8日	東京都	学習院女子高等科	事例から考えるリスクマネジメント	34
339	11月8日	大阪府	大阪府立箕面東高等学校	成年になるということ	48
340	11月8日	大阪府	大阪府立箕面東高等学校	成年になるということ	52
341	11月8日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	33
342	11月8日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	33
343	11月8日	兵庫県	兵庫県立多可高等学校	ほけんのキホン for Beginners	39
344	11月11日	大阪府	東大阪大学	生活設計とリスク管理	37
345	11月11日	京都府	福知山成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	63
346	11月11日	京都府	福知山成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	67

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
347	11月11日	京都府	福知山成美高等学校	生活設計とリスクへの備え	11
348	11月11日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	34
349	11月11日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	34
350	11月12日	山口県	山口大学	生命保険と税金の知識	29
351	11月12日	東京都	東京都立世田谷総合高等学校	君とみらいとライフプラン	6
352	11月12日	東京都	東京都立世田谷総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	6
353	11月12日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	30
354	11月12日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	30
355	11月13日	和歌山県	和歌山県立紀史館高等学校	ほけんのキホン for Beginners	124
356	11月13日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	君とみらいとライフプラン	34
357	11月13日	東京都	東京都立立川国際中等教育学校	生活設計とリスクへの備え	34
358	11月13日	埼玉県	文京学院大学	君とみらいとライフプラン	51
359	11月14日	愛知県	愛知県立佐屋高等学校	ほけんのキホン for Beginners	112
360	11月18日	大阪府	東大阪大学	生命保険の基礎知識	37
361	11月18日	茨城県	茨城県立岩瀬高等学校	ほけんのキホン for Beginners	115
362	11月18日	長野県	信州大学	リスクに備える	87
363	11月19日	広島県	広島福祉専門学校	生活設計とリスク管理	15
364	11月19日	広島県	広島福祉専門学校	生活設計とリスク管理	18
365	11月19日	群馬県	高崎商科大学	生活設計とリスク管理	15
366	11月19日	岡山県	山陽学園大学	生活設計とリスク管理	34
367	11月19日	山形県	羽陽学園短期大学	生活設計とリスク管理	26
368	11月19日	東京都	東京YMCA医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	36
369	11月20日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	33
370	11月20日	東京都	東京都立足立東高等学校	ほけんのキホン for Beginners	20
371	11月20日	東京都	東京都立足立東高等学校	ほけんのキホン for Beginners	23
372	11月20日	東京都	東京都立足立東高等学校	ほけんのキホン for Beginners	24
373	11月20日	東京都	東京都立足立東高等学校	ほけんのキホン for Beginners	22
374	11月20日	東京都	東京都立足立東高等学校	ほけんのキホン for Beginners	22
375	11月20日	東京都	東京都立足立東高等学校	ほけんのキホン for Beginners	24
376	11月21日	埼玉県	文京学院大学	公的年金と個人年金	31
377	11月21日	兵庫県	神戸電子専門学校	生命保険の基礎知識	22
378	11月21日	兵庫県	神戸電子専門学校	生命保険の基礎知識	22
379	11月21日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	32
380	11月21日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	33
381	11月21日	東京都	聖学院高等学校	自助・共助・公助について考えよう	33
382	11月22日	岐阜県	岐阜県立恵那南高等学校	ほけんのキホン for Beginners	33
383	11月22日	東京都	帝京大学	生命保険の基礎知識	20
384	11月26日	岡山県	山陽学園大学	生命保険の基礎知識	34
385	11月26日	東京都	中央大学	リスクに備える	65
386	11月27日	東京都	東京都立八潮高等学校	成年になるということ	27
387	11月27日	東京都	東京都立八潮高等学校	成年になるということ	24
388	11月27日	東京都	東京都立八潮高等学校	成年になるということ	27
389	11月27日	東京都	東京都立八潮高等学校	成年になるということ	28
390	11月27日	東京都	東京都立八潮高等学校	成年になるということ	30
391	11月27日	東京都	東京都立八潮高等学校	成年になるということ	23
392	11月27日	愛知県	椋山女学園大学	生命保険の基礎知識	56
393	11月28日	滋賀県	滋賀短期大学	生活設計とリスク管理	42
394	11月29日	神奈川県	関東学院大学	リスクに備える	17
395	11月29日	愛知県	名古屋学院大学	生活設計とリスク管理	63
396	11月30日	東京都	東京都立砂川高等学校	君とみらいとライフプラン	52
397	11月30日	東京都	東京都立砂川高等学校	生活設計とリスクへの備え	52
398	12月2日	東京都	学習院大学	リスクに備える	95
399	12月2日	神奈川県	東洋英和女学院大学	リスクに備える	130
400	12月2日	神奈川県	東洋英和女学院大学	リスクに備える	40
401	12月2日	神奈川県	聖ヶ丘保育専門学校	生活設計とリスク管理	42
402	12月2日	愛知県	名古屋学院大学	生活設計とリスク管理	84
403	12月3日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	23
404	12月3日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	23

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
405	12月3日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	20
406	12月3日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	20
407	12月3日	福岡県	福岡医療秘書福祉専門学校	生活設計とリスク管理	19
408	12月4日	茨城県	茨城県立鉾田第一高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	21
409	12月4日	岐阜県	岐阜協立大学	リスクに備える	7
410	12月4日	東京都	専修大学	リスクに備える	26
411	12月4日	千葉県	植草学園大学	生活設計とリスク管理	66
412	12月5日	広島県	広島県立沼南高等学校	ほけんのキホン for Beginners	30
413	12月6日	兵庫県	神戸女子大学	生活設計とリスク管理	38
414	12月6日	大阪府	大阪医療秘書福祉&IT専門学校	生活設計とリスク管理	11
415	12月6日	長野県	長野県梓川高等学校	君とみらいとライフプラン	76
416	12月6日	長野県	長野県梓川高等学校	成年になるということ	76
417	12月6日	奈良県	帝塚山大学	生命保険の基礎知識	8
418	12月6日	大阪府	大学コンソーシアム大阪	リスクに備える	112
419	12月6日	愛知県	名古屋学院大学	生命保険の基礎知識	89
420	12月6日	愛知県	名古屋学院大学	生命保険の基礎知識	87
421	12月6日	岡山県	川崎医科大学	生活設計とリスク管理	120
422	12月9日	大阪府	東大阪大学	医療保険と介護保険	37
423	12月9日	愛知県	愛知文教女子短期大学	生活設計とリスク管理	67
424	12月9日	愛知県	愛知大学	生活設計とリスク管理	208
425	12月9日	愛知県	名古屋学院大学	生命保険の基礎知識	91
426	12月10日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
427	12月10日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
428	12月10日	千葉県	敬愛大学	公的年金と個人年金	9
429	12月10日	東京都	東京都立小金井工科高等学校	成年になるということ	15
430	12月10日	大阪府	近畿大学	ほけんのキホン for Beginners	163
431	12月11日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
432	12月11日	愛知県	名古屋短期大学	リスクに備える	32
433	12月11日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	成年になるということ	37
434	12月11日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
435	12月11日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	成年になるということ	38
436	12月11日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
437	12月11日	東京都	東京都立青井高等学校	成年になるということ	106
438	12月12日	兵庫県	兵庫県立香住高等学校	成年になるということ	30
439	12月12日	兵庫県	兵庫県立香住高等学校	成年になるということ	35
440	12月12日	滋賀県	滋賀短期大学	生活設計とリスク管理	63
441	12月12日	愛知県	椋山女学園大学	リスクに備える	22
442	12月12日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	成年になるということ	33
443	12月12日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
444	12月12日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	成年になるということ	38
445	12月12日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
446	12月13日	兵庫県	兵庫県立香住高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
447	12月13日	兵庫県	兵庫県立香住高等学校	ほけんのキホン for Beginners	30
448	12月13日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	23
449	12月13日	静岡県	静岡英和女学院高等学校	成年になるということ	23
450	12月13日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
451	12月13日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
452	12月13日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
453	12月13日	愛知県	名古屋学院大学	公的年金と個人年金	90
454	12月13日	愛知県	名古屋学院大学	公的年金と個人年金	81
455	12月13日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	成年になるということ	36
456	12月13日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
457	12月13日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	成年になるということ	33
458	12月13日	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
459	12月16日	神奈川県	聖ヶ丘保育専門学校	生活設計とリスク管理	81
460	12月16日	東京都	東京都立飛鳥高等学校	成年になるということ	8
461	12月16日	東京都	東京都立神津高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	38
462	12月16日	愛知県	名古屋学院大学	公的年金と個人年金	95

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
463	12月17日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
464	12月17日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	26
465	12月17日	大阪府	関西大学	公的年金と個人年金	236
466	12月18日	茨城県	茨城県立結城第二高等学校	ほけんのキホン for Beginners	15
467	12月18日	鹿児島県	鹿児島情報高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
468	12月18日	北海道	北海道札幌東商業高等学校	成年になるということ	233
469	12月18日	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
470	12月18日	埼玉県	埼玉県立狭山工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	65
471	12月18日	埼玉県	埼玉県立狭山工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	49
472	12月18日	埼玉県	埼玉大学	生活設計とリスク管理	13
473	12月18日	東京都	東京都立町田工科高等学校	君とみらいとライフプラン	75
474	12月18日	東京都	東京都立町田工科高等学校	成年になるということ	75
475	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	15
476	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	15
477	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	14
478	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	14
479	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	16
480	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	16
481	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	15
482	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	15
483	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	君とみらいとライフプラン	15
484	12月19日	東京都	東京都立深沢高等学校	生活設計とリスクへの備え	15
485	12月20日	愛知県	名古屋学院大学	医療保険と介護保険	78
486	12月23日	島根県	島根大学	生命保険の基礎知識	39
487	12月23日	愛知県	名古屋学院大学	医療保険と介護保険	84
488	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	君とみらいとライフプラン	23
489	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	23
490	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	君とみらいとライフプラン	31
491	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	31
492	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	君とみらいとライフプラン	32
493	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	32
494	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	君とみらいとライフプラン	32
495	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	32
496	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	君とみらいとライフプラン	31
497	12月23日	東京都	東京都立足立西高等学校	成年になるということ	31
498	12月24日	東京都	町田福祉保育専門学校	生活設計とリスク管理	14
499	12月31日	福岡県	福岡県立朝倉東高等学校	成年になるということ	17
500	1月8日	石川県	石川県立松任高等学校	ほけんのキホン for Beginners	46
501	1月9日	大阪府	近畿大学	生活設計とリスク管理	13
502	1月10日	東京都	東京都立科学技術高等学校	ほけんのキホン for Beginners	32
503	1月10日	兵庫県	兵庫県立和田山高等学校	ほけんのキホン for Beginners	55
504	1月14日	兵庫県	兵庫県立淡路高等学校	ほけんのキホン for Beginners	97
505	1月15日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
506	1月15日	兵庫県	兵庫県立豊岡総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
507	1月16日	大阪府	関西大学	生命保険の基礎知識	15
508	1月20日	静岡県	静岡県立島田商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	171
509	1月20日	新潟県	新潟県立長岡商業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	44
510	1月21日	愛知県	愛知高等学校	ほけんのキホン for Beginners	117
511	1月21日	山梨県	都留文科大学	生活設計とリスク管理	69
512	1月21日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
513	1月21日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	35
514	1月21日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
515	1月21日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	37
516	1月22日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	君とみらいとライフプラン	35
517	1月22日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	35
518	1月22日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	成年になるということ	35
519	1月22日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
520	1月22日	岡山県	岡山県立鳥城高等学校	君とみらいとライフプラン	42

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
521	1月22日	岡山県	岡山県立鳥城高等学校	成年になるということ	42
522	1月22日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
523	1月22日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	39
524	1月22日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
525	1月22日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	37
526	1月22日	広島県	広島大学	リスクに備える	131
527	1月23日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
528	1月23日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
529	1月23日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	39
530	1月23日	東京都	芝国際高等学校	君とみらいとライフプラン	32
531	1月23日	東京都	芝国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
532	1月24日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
533	1月24日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
534	1月24日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	37
535	1月24日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
536	1月24日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	38
537	1月27日	静岡県	静岡県立新居高等学校	ほけんのキホン for Beginners	136
538	1月27日	静岡県	静岡県立新居高等学校	成年になるということ	136
539	1月27日	北海道	北海道湧別高等学校	君とみらいとライフプラン	27
540	1月27日	北海道	北海道湧別高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
541	1月27日	新潟県	北陸福祉保育専門学院	生活設計とリスク管理	22
542	1月27日	北海道	函館大谷短期大学	生活設計とリスク管理	30
543	1月27日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
544	1月27日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
545	1月27日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	生活設計とリスクへの備え	35
546	1月27日	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	e-ライフプランニング	35
547	1月28日	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
548	1月29日	佐賀県	佐賀大学	生活設計とリスク管理	65
549	1月29日	東京都	芝国際高等学校	君とみらいとライフプラン	16
550	1月29日	東京都	芝国際高等学校	生活設計とリスクへの備え	16
551	2月3日	静岡県	静岡県立新居高等学校	君とみらいとライフプラン	132
552	2月3日	静岡県	静岡県立新居高等学校	生活設計とリスクへの備え	132
553	2月4日	群馬県	桐生市立商業高等学校	君とみらいとライフプラン	143
554	2月4日	群馬県	桐生市立商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	143
555	2月4日	広島県	広島県立福山商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	56
556	2月4日	広島県	広島県立福山商業高等学校	生活設計とリスクへの備え	33
557	2月4日	宮城県	仙台医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	50
558	2月4日	長崎県	長崎県立川棚高等学校	ほけんのキホン for Beginners	37
559	2月4日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	7
560	2月4日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	6
561	2月4日	東京都	東京都立浅草高等学校	成年になるということ	1
562	2月5日	福岡県	平岡介護福祉専門学校	生活設計とリスク管理	27
563	2月7日	群馬県	群馬県立渋川工業高等学校	成年になるということ	102
564	2月7日	群馬県	群馬県立玉村高等学校	ほけんのキホン for Beginners	70
565	2月7日	群馬県	群馬県立伊勢崎工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	157
566	2月10日	群馬県	群馬県立藤岡工業高等学校	ほけんのキホン for Beginners	64
567	2月10日	群馬県	群馬県立藤岡工業高等学校	成年になるということ	64
568	2月10日	東京都	東京都立蔵前工科高等学校	君とみらいとライフプラン	4
569	2月10日	東京都	東京都立蔵前工科高等学校	生活設計とリスクへの備え	4
570	2月12日	滋賀県	近江兄弟社高等学校	生活設計とリスクへの備え	23
571	2月12日	滋賀県	近江兄弟社高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
572	2月12日	鹿児島県	鹿児島県立伊佐農林高等学校	ほけんのキホン for Beginners	40
573	2月13日	沖縄県	沖縄県立宜野湾高等学校	人生100年時代に必要な備えとは？	35
574	2月13日	沖縄県	沖縄県立宜野湾高等学校	人生100年時代に必要な備えとは？	35
575	2月13日	埼玉県	埼玉県立誠和福祉高等学校	成年になるということ	67
576	2月13日	茨城県	聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	生活設計とリスクへの備え	63
577	2月14日	岡山県	岡山医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	43
578	2月14日	福岡県	折尾愛真高等学校	生活設計とリスクへの備え	242

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
579	2月14日	福岡県	福岡県立小倉東高等学校	成年になるということ	140
580	2月17日	鹿児島県	鹿児島医療福祉専門学校	生活設計とリスク管理	14
581	2月17日	宮崎県	宮崎県立高千穂高等学校	成年になるということ	63
582	2月17日	熊本県	熊本県立南陵高等学校	生活設計とリスクへの備え	107
583	2月17日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	28
584	2月17日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	28
585	2月18日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	君とみらいとライフプラン	32
586	2月18日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	成年になるということ	32
587	2月18日	福岡県	那珂川市立那珂川中学校	リスクに備える	136
588	2月18日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	ほけんのキホン for Beginners	24
589	2月18日	愛知県	愛知県立岡崎工科高等学校	成年になるということ	24
590	2月18日	東京都	東京都立瑞穂農芸高等学校	生活設計とリスクへの備え	111
591	2月18日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	14
592	2月18日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	14
593	2月19日	東京都	東京都立晴海総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
594	2月19日	東京都	東京都立晴海総合高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
595	2月19日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	君とみらいとライフプラン	38
596	2月19日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	成年になるということ	38
597	2月19日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	君とみらいとライフプラン	36
598	2月19日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	成年になるということ	36
599	2月19日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
600	2月19日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	34
601	2月19日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
602	2月19日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
603	2月19日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
604	2月19日	東京都	東京都立調布南高等学校	成年になるということ	39
605	2月19日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	25
606	2月19日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	25
607	2月20日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	君とみらいとライフプラン	34
608	2月20日	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	成年になるということ	34
609	2月20日	長野県	長野市立長野高等学校	成年になるということ	120
610	2月20日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	24
611	2月20日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	24
612	2月20日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	27
613	2月20日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	27
614	2月21日	沖縄県	沖縄県立宜野湾高等学校	人生100年時代に必要な備えとは？	34
615	2月21日	鹿児島県	天城町立北中学校	人生100年時代に必要な備えとは？	25
616	2月21日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	19
617	2月21日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	19
618	2月22日	東京都	貞静学園高等学校	君とみらいとライフプラン	17
619	2月22日	東京都	貞静学園高等学校	生活設計とリスクへの備え	17
620	2月25日	岩手県	花巻市立東和中学校	リスクに備える	48
621	2月26日	滋賀県	近江兄弟社高等学校	生活設計とリスクへの備え	115
622	2月26日	三重県	ユマニテク医療福祉大学校	生命保険の基礎知識	27
623	2月26日	三重県	ユマニテク医療福祉大学校	生活設計とリスク管理	27
624	2月28日	沖縄県	沖縄アカデミー専門学校	生活設計とリスク管理	8
625	2月28日	大阪府	大阪公立大学	生活設計とリスク管理	587
626	3月3日	大分県	大分中学校	君とみらいとライフプラン	27
627	3月3日	大分県	大分中学校	リスクに備える	27
628	3月5日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	36
629	3月5日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	36
630	3月5日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	37
631	3月5日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
632	3月6日	東京都	大田区立蓮沼中学校	リスクに備える	24
633	3月6日	東京都	大田区立蓮沼中学校	リスクに備える	29
634	3月6日	東京都	大田区立蓮沼中学校	リスクに備える	28
635	3月7日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	37
636	3月7日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	37

No.	開催月日	都道府県	学 校 名	テ ー マ	受講者数
637	3月7日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	37
638	3月7日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	37
639	3月10日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	君とみらいとライフプラン	39
640	3月10日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	39
641	3月10日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	君とみらいとライフプラン	54
642	3月10日	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	54
643	3月10日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	38
644	3月10日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	38
645	3月10日	愛知県	愛知県立知立高等学校	君とみらいとライフプラン	40
646	3月10日	愛知県	愛知県立知立高等学校	生活設計とリスクへの備え	40
647	3月10日	東京都	東京都立千歳丘高等学校	成年になるということ	227
648	3月12日	千葉県	八千代松陰中学校	成年になるということ	34
649	3月12日	千葉県	八千代松陰中学校	成年になるということ	34
650	3月12日	千葉県	八千代松陰中学校	成年になるということ	35
651	3月12日	千葉県	八千代松陰中学校	成年になるということ	33
652	3月12日	千葉県	八千代松陰中学校	成年になるということ	33
653	3月12日	千葉県	八千代松陰中学校	成年になるということ	34
654	3月12日	東京都	東京都立大泉桜高等学校	君とみらいとライフプラン	30
655	3月12日	東京都	東京都立大泉桜高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
656	3月12日	京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校	成年になるということ	38
657	3月12日	東京都	東京都立田無高等学校	君とみらいとライフプラン	279
658	3月12日	東京都	東京都立田無高等学校	成年になるということ	279
659	3月13日	東京都	東京都立大泉桜高等学校	君とみらいとライフプラン	15
660	3月13日	東京都	東京都立大泉桜高等学校	生活設計とリスクへの備え	15
661	3月14日	東京都	東京都立大泉桜高等学校	君とみらいとライフプラン	32
662	3月14日	東京都	東京都立大泉桜高等学校	生活設計とリスクへの備え	32
663	3月14日	宮城県	宮城県多賀城高等学校	成年になるということ	251
664	3月14日	秋田県	秋田県立仁賀保高等学校	事例から考えるリスクマネジメント	29
665	3月14日	秋田県	秋田県立仁賀保高等学校	生活設計とリスクへの備え	29
666	3月15日	熊本県	熊本県立水俣高等学校	ほけんのキホン for Beginners	99
667	3月17日	埼玉県	埼玉県立浦和工業高等学校	成年になるということ	118
668	3月17日	東京都	東京都立富士高等学校	生活設計とリスクへの備え	30
669	3月18日	東京都	東京都立富士高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
670	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	31
671	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	31
672	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	34
673	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	34
674	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	34
675	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	34
676	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	30
677	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	30
678	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	26
679	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	26
680	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	君とみらいとライフプラン	32
681	3月19日	東京都	東京都立久留米西高等学校	成年になるということ	32
682	3月20日	広島県	広島県立宮島工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	22
683	3月20日	広島県	広島県立宮島工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
684	3月20日	広島県	広島県立宮島工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
685	3月20日	広島県	広島県立宮島工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
686	3月20日	広島県	広島県立宮島工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
687	3月20日	広島県	広島県立宮島工業高等学校	生活設計とリスクへの備え	21
688	3月24日	東京都	東京都立富士高等学校	生活設計とリスクへの備え	34
689	3月27日	岩手県	盛岡大学短期大学部	生活設計とリスク管理	45

合計 36,243

3. 生命保険学習会開催状況一覧

(1) 消費者向け学習会

No.	開催月日	都道府県	主催団体	テーマ	受講者数
1	4月17日	東京都	港区立生涯学習センター	医療保険と介護保険	8
2	5月8日	宮城県	石巻市教育委員会生涯学習課	公的年金と個人年金	10
3	5月18日	佐賀県	財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所	生活設計とリスク管理	16
4	5月25日	北海道	旭川市シニア大学	セカンドライフと生命保険	5
5	6月7日	愛知県	名古屋市消費生活センター	生命保険と税金の知識	56
6	6月10日	愛知県	名古屋市名東生涯学習センター	生命保険の基礎知識	15
7	6月28日	北海道	函館消費者協会	医療保険と介護保険	7
8	7月28日	秋田県	能代市中央公民館	セカンドライフと生命保険	11
9	8月31日	新潟県	新潟市立中央図書館	子育て世代の生活設計と生命保険	15
10	9月9日	長崎県	大村市中央公民館	定年退職準備	22
11	9月13日	和歌山県	和歌山市消費生活センター	セカンドライフと生命保険	24
12	9月20日	徳島県	板野町消費生活相談所	医療保険と介護保険	24
13	9月24日	埼玉県	さいたま市立大久保公民館	医療保険と介護保険	46
14	9月25日	兵庫県	宍粟市人権推進課	セカンドライフと生命保険	17
15	9月30日	東京都	北区立赤羽文化センター	定年退職準備	24
16	9月30日	東京都	江東区消費者センター	セカンドライフと生命保険	26
17	10月2日	富山県	富山市市民学習センター	セカンドライフと生命保険	34
18	10月11日	栃木県	那須塩原市稲村地区子ども会育成会連絡協議会	子育て世代の生活設計と生命保険	25
19	10月24日	千葉県	市原市生涯学習センター	セカンドライフと生命保険	12
20	10月28日	福島県	福島市消費生活センター	セカンドライフと生命保険	13
21	10月30日	埼玉県	上尾市消費生活センター	セカンドライフと生命保険	13
22	10月31日	千葉県	野田市立興風図書館	セカンドライフと生命保険	11
23	11月9日	京都府	舞鶴市消費生活センター	生命保険の基礎知識	18
24	11月19日	東京都	多摩消費生活センター	定年退職準備	580
25	11月21日	神奈川県	川崎市教育委員会高津市民館	成年になるということ	6
26	11月25日	島根県	益田市社会福祉協議会	セカンドライフと生命保険	14
27	11月26日	高知県	高知県立消費生活センター	セカンドライフと生命保険	24
28	11月28日	埼玉県	さいたま市立三室公民館	医療保険と介護保険	22
29	11月30日	兵庫県	加西市役所	公的年金と個人年金	9
30	12月2日	鳥取県	公立鳥取環境大学	医療保険と介護保険	142
31	1月21日	福井県	越前町朝日子育て支援センター	子育て世代の生活設計と生命保険	10
32	1月31日	兵庫県	甲南大学リカレント教育センター	リスクに備える	20
33	2月5日	和歌山県	和歌山県消費生活センター	セカンドライフと生命保険	24
34	2月6日	千葉県	千葉市産業振興財団	定年退職準備	5
35	2月27日	神奈川県	川崎市幸市民館	成年になるということ	15

合計 1,323

(2) 従業員・職員向け学習会

No.	開催月日	都道府県	主 催 団 体	テ ー マ	受講者数
1	4月12日	東京都	理研計器株式会社	新入社員向け研修	33
2	4月26日	東京都	株式会社ソード	新入社員向け研修	8
3	5月29日	東京都	三菱電機インフォメーションシステムズ労働組合	定年退職準備	71
4	6月11日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	公的年金と個人年金	48
5	6月11日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	定年退職準備	48
6	6月12日	鳥取県	新日本海新聞社	新入社員向け研修	12
7	6月14日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	公的年金と個人年金	35
8	6月14日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構座間支部	定年退職準備	35
9	6月18日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	公的年金と個人年金	33
10	6月18日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	33
11	6月21日	東京都	全日本電線関連産業労働組合連合会	定年退職準備	55
12	6月26日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	公的年金と個人年金	30
13	6月26日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	30
14	6月27日	青森県	青森県市町村職員共済組合	定年退職準備	84
15	7月30日	宮城県	仙台市財政局税務部市民税課	生命保険と税金の知識	20
16	8月2日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	118
17	8月8日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	70
18	8月20日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	60
19	8月22日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	定年退職準備	9
20	8月22日	東京都	駐留軍等労働者労務管理機構横田支部	公的年金と個人年金	9
21	8月31日	栃木県	栃木県経営管理部職員厚生課	子育て世代の生活設計と生命保険	100
22	9月6日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	15
23	9月6日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	15
24	9月6日	新潟県	地方職員共済組合新潟県支部	子育て世代の生活設計と生命保険	8
25	9月11日	広島県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	6
26	9月11日	広島県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	6
27	9月11日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	42
28	9月11日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	42
29	9月13日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	定年退職準備	10
30	9月13日	山口県	駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部	公的年金と個人年金	10
31	9月18日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	41
32	9月18日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	41
33	9月25日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	公的年金と個人年金	51
34	9月25日	神奈川県	駐留軍等労働者労務管理機構横須賀支部	定年退職準備	51
35	10月10日	愛知県	株式会社興和工業所	公的年金と個人年金	22
36	10月10日	愛知県	株式会社興和工業所	定年退職準備	22
37	11月7日	栃木県	公立学校共済組合栃木支部	定年退職準備	24
38	11月8日	岩手県	岩手県医療局	定年退職準備	107
39	11月13日	愛知県	豊橋市役所総務部人事課	定年退職準備	49
40	11月14日	愛知県	豊橋市役所総務部人事課	定年退職準備	43
41	11月20日	東京都	東京ガス i ネット株式会社	定年退職準備	43
42	11月23日	東京都	ゼリア新薬工業株式会社	定年退職準備	24
43	11月25日	愛知県	株式会社Mizkan J plus Holdings	定年退職準備	8
44	11月26日	愛知県	株式会社Mizkan J plus Holdings	定年退職準備	8
45	11月28日	大分県	公立学校共済組合大分支部	定年退職準備	68
46	12月3日	大分県	公立学校共済組合大分支部	定年退職準備	70
47	12月12日	大分県	公立学校共済組合大分支部	定年退職準備	73
48	1月8日	大阪府	人事院近畿事務局	医療保険と介護保険	23
49	1月14日	東京都	農林水産省大臣官房秘書課	定年退職準備	19
50	2月3日	大阪府	レッキス工業株式会社	公的年金と個人年金	40
51	2月3日	大阪府	レッキス工業株式会社	定年退職準備	40
52	2月19日	愛知県	株式会社メタルテック	定年退職準備	10
53	2月26日	愛知県	株式会社メタルテック	定年退職準備	11
54	2月28日	埼玉県	国税庁税務大学校	生命保険の基礎知識	1026
55	3月18日	千葉県	日本自動車連盟千葉支部	生命保険の基礎知識	13
56	3月31日	埼玉県	国税庁税務大学校	生命保険の基礎知識	200

合計 3,222

4. 相談員勉強会開催状況一覧

No.	開催月日	都道府県	主 催 団 体	テ ー マ	受講者数
1	5月21日	京都府	京都府消費生活安全センター	相談事例から学ぶ生命保険	14
2	6月8日	京都府	全国消費生活相談員協会関西支部	相談事例から学ぶ生命保険	19
3	6月19日	山口県	山口県消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	10
4	6月24日	高知県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障、「市場リスク」を有する生命保険等	4
5	6月25日	鳥取県	鳥取県消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	19
6	7月5日	埼玉県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
7	7月7日	京都府	京都消費生活有資格者の会	セカンドライフと生命保険	20
8	7月7日	京都府	京都消費生活有資格者の会	生命保険と税金の知識	20
9	7月7日	京都府	京都消費生活有資格者の会	生命保険の基礎知識	20
10	7月8日	北海道	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	4
11	7月11日	岐阜県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	4
12	7月11日	神奈川県	国民生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	71
13	7月17日	和歌山県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	8
14	7月18日	大分県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	12
15	7月19日	山口県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	8
16	7月19日	鹿児島県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	17
17	7月23日	石川県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	17
18	8月1日	福岡県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	9
19	8月2日	福岡県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	3
20	8月21日	佐賀県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	12
21	8月25日	青森県	青森県消費者問題研究会	医療保険と介護保険	5
22	8月26日	島根県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	6
23	8月27日	神奈川県	国民生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	71
24	8月29日	滋賀県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	3
25	9月4日	長野県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
26	9月4日	神奈川県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	9
27	9月5日	栃木県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	4
28	9月6日	東京都	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	11
29	9月6日	徳島県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	13
30	9月9日	新潟県	生命保険意見交換会	外貨建て生命保険の概要	17
31	9月10日	岩手県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	5
32	9月11日	秋田県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
33	9月11日	宮城県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	14
34	9月11日	岡山県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	10
35	9月11日	鳥取県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	5
36	9月12日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	7
37	9月17日	静岡県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	28
38	9月18日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
39	9月19日	宮崎県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	25
40	9月21日	愛知県	全国消費生活相談員協会中部支部	相談事例から学ぶ生命保険	25
41	9月25日	三重県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	21
42	10月2日	茨城県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
43	10月2日	山形県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	6
44	10月5日	北海道	全国消費生活相談員協会北海道支部	相談事例から学ぶ生命保険	11
45	10月11日	神奈川県	国民生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	296
46	10月17日	青森県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	6
47	10月18日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	7
48	10月21日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	10
49	10月22日	群馬県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険、医療保障と介護保障等	22
50	10月24日	愛知県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	17
51	10月25日	北海道	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
52	10月29日	愛知県	消費者被害防止ネットワーク東海	相談事例から学ぶ生命保険	60
53	11月3日	東京都	全国消費生活相談員協会関東支部	セカンドライフと生命保険	40
54	11月6日	北海道	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	4

No.	開催月日	都道府県	主 催 団 体	テ ー マ	受講者数
55	11月6日	京都府	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	11
56	11月6日	長崎県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	10
57	11月7日	沖縄県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	5
58	11月9日	高知県	高知県立消費生活センター	相談事例から学ぶ生命保険	6
59	11月11日	千葉県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	6
60	11月12日	香川県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
61	11月13日	富山県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	9
62	11月13日	福井県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	5
63	11月14日	大阪府	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	8
64	11月16日	宮城県	N A C S 東北支部	相談事例から学ぶ生命保険	13
65	11月20日	奈良県	生命保険意見交換会	「市場リスク」を有する生命保険	9
66	11月27日	愛媛県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	6
67	12月7日	福岡県	全国消費生活相談員協会九州支部	相談事例から学ぶ生命保険	19
68	12月19日	長崎県	長崎県食品安全・消費生活課	相談事例から学ぶ生命保険	26
69	12月20日	千葉県	千葉県消費者センター	相談事例から学ぶ生命保険	16
70	1月18日	東京都	日本消費者協会	生命保険の基礎知識	8
71	1月23日	福島県	生命保険意見交換会	医療保障と介護保障	5
72	1月23日	兵庫県	生命保険意見交換会	相談事例から学ぶ生命保険	40
73	1月25日	宮城県	全国消費生活相談員協会東北支部	相談事例から学ぶ生命保険	9
74	2月15日	兵庫県	N A C S 西日本支部	相談事例から学ぶ生命保険	20
75	2月17日	神奈川県	横浜市消費生活総合センター	相談事例から学ぶ生命保険	31
76	3月29日	熊本県	日本消費者協会	相談事例から学ぶ生命保険	12

合計 1,363

5. 相談内容別件数（一般相談）

区 分	相 談 内 容	2024年度			2023年度	
		累計	占率	前年度比	累計	占率
I 既契約の見直しに関する相談 (理由)	1 保険料負担を減らしたい	10	1.3%	62.5%	16	2.1%
	2 保障を減らしたい	5	0.7%	83.3%	6	0.8%
	3 保障内容を変更（増額含む）したい	4	0.5%	200.0%	2	0.3%
	① 保険料の支払いが困難になったので	4	21.1%	50.0%	8	33.3%
	② 保険料をもっと儉約できるのではないかと考えて	6	31.6%	120.0%	5	20.8%
	③ 保障が少ないと思うので	0	0.0%	－	0	0.0%
	④ 保障が多いと思うので	2	10.5%	40.0%	5	20.8%
	⑤ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	7	36.8%	175.0%	4	16.7%
	⑥ その他	0	0.0%	0.0%	2	8.3%
		19	2.5%	79.2%	24	3.2%
II 既契約の診断・内容確認に関する相談 (理由)	1 既契約の保障内容を診断して欲しい	18	2.4%	94.7%	19	2.5%
	2 既契約の内容確認をしたい	35	4.7%	74.5%	47	6.3%
	① 保障内容が分からなくなったので	30	56.6%	85.7%	35	53.0%
	② 自分に合っているのか不安だから	15	28.3%	75.0%	20	30.3%
	③ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	2	3.8%	40.0%	5	7.6%
	④ その他	6	11.3%	100.0%	6	9.1%
		53	7.1%	80.3%	66	8.8%
III 生命保険の加入検討の相談 (理由)	1 商品内容を教えて欲しい	7	0.9%	100.0%	7	0.9%
	2 商品選択のポイントについて教えて欲しい	25	3.3%	119.0%	21	2.8%
	3 自分のニーズに合っているか教えて欲しい	31	4.1%	119.2%	26	3.5%
	4 販売している会社を教えて欲しい	3	0.4%	25.0%	12	1.6%
	5 転換における注意点を教えて欲しい	0	0.0%	0.0%	1	0.1%
	① 営業職員や代理店から勧められている新契約が妥当かどうか確認したいので	26	39.4%	123.8%	21	31.3%
	② 営業職員や代理店から勧められている転換が妥当かどうか確認したいので	0	0.0%	0.0%	5	7.5%
	③ 自分で選んだ保険が妥当かどうか確認したいので	5	7.6%	62.5%	8	11.9%
	④ 生活環境の変化（結婚・就職・出生等）に合わせて	11	16.7%	183.3%	6	9.0%
	⑤ 商品内容に関心を持ったことから	12	18.2%	66.7%	18	26.9%
	⑥ その他	12	18.2%	133.3%	9	13.4%
		66	8.8%	98.5%	67	9.0%
IV 契約条件に関する相談	1 告知義務について教えて欲しい	45	6.0%	100.0%	45	6.0%
	2 契約年齢範囲について教えて欲しい	1	0.1%	－	0	0.0%
		46	6.1%	102.2%	45	6.0%
V 生命保険の仕組み・税金・保金に関する相談	1 生命保険の仕組みについて教えて欲しい	121	16.1%	83.4%	145	19.4%
	2 税金について教えて欲しい	172	22.9%	143.3%	120	16.0%
	3 各種手続きについて教えて欲しい	148	19.7%	113.8%	130	17.4%
		441	58.8%	111.6%	395	52.8%
VI 社会保障制度に関する相談	1 社会保障制度について教えて欲しい	21	2.8%	91.3%	23	3.1%
VII その他	1 営業職員・代理店に関する問い合わせ	71	9.5%	86.6%	82	11.0%
	2 その他	33	4.4%	71.7%	46	6.1%
		104	13.9%	81.3%	128	17.1%
一般相談合計		750	100%	100.3%	748	100%

6. 新聞・機関紙・テレビからの取材対応

<新聞> 26回

	取材対応日	新聞名	取材内容
1	2024/4/11	山梨日日新聞	生命保険と税金の知識
2	2024/4/12	山梨日日新聞	生命保険と税金の知識
3	2024/5/13	北海道新聞	生命保険と税金の知識
4	2024/5/13	北陸中日新聞	生命保険と税金の知識
5	2024/5/14	佐賀新聞	中学生作文コンクール
6	2024/5/14	山陽新聞	中学生作文コンクール
7	2024/5/14	四國新聞	中学生作文コンクール
8	2024/5/14	秋田魁新報	中学生作文コンクール
9	2024/5/23	岐阜新聞	中学生作文コンクール
10	2024/5/28	高知新聞	中学生作文コンクール
11	2024/5/31	山梨日日新聞	中学生作文コンクール
12	2024/6/4	北海道新聞	生活保障に関する調査等
13	2024/6/7	夕刊デリー	中学生作文コンクール
14	2024/6/11	読売新聞	生命保険と税金の知識
15	2024/6/25	読売新聞	センターHP 記載内容について
16	2024/6/26	読売新聞	生命保険と税金の知識
17	2024/6/27	下野新聞	中学生作文コンクール
18	2024/11/6	河北新報	中学生作文コンクール
19	2024/11/8	中日新聞	中学生作文コンクール
20	2024/11/14	徳島新聞	中学生作文コンクール
21	2025/1/10	読売新聞	生活保障に関する調査、全国実態調査
22	2025/1/27	朝日新聞	全国実態調査
23	2025/2/12	共同通信	全国実態調査
24	2025/3/6	北海道新聞	ライフプラン情報ブック
25	2025/3/12	山梨日日新聞	ソナソナ
26	2025/3/19	岐阜新聞	ソナソナ

<機関紙> 1回

	取材対応日	新聞名	取材内容
1	2025/1/9	しんぶん赤旗	全国実態調査

<テレビ> 4回

	取材対応日	テレビ局名	取材内容
1	2024/4/5	NHK	全国実態調査
2	2024/5/2	BS-TBS	全国実態調査
3	2024/9/19	NHK	センターHP 記載内容について
4	2025/1/8	NHK	全国実態調査等

7. 研究会の開催状況

※開催月日順→発表順で掲載

(1) 保険事例研究会

<東京>

	開催月日	テーマ
1	5月8日	医療保険約款所定の『入院』該当性が否定された事例
2	6月5日	一括受取金請求と契約締結時の錯誤・情報提供
3	7月3日	相続させる遺言による保険金受取人変更および生命保険金の特別受益性
4	9月4日	転換時の説明義務違反、不法行為、消費者契約法違反他
5	10月2日	屋根からの転落についての偶然性の認定と被保険者の故意・重過失
6	11月6日	保険金受取人変更についての約款規定の効力
7	12月4日	胃GISTの保険事故該当性（悪性新生物該当性）
8	1月8日	不払い検証時の見舞金の支払い等と取締役の任務懈怠責任
9	2月5日	告知義務違反の成否

<大阪>

	開催月日	テーマ
1	5月10日	精神障害中の自殺
2	6月14日	更新時の説明義務
3	7月12日	「保険金を相続させる」遺言が保険金受取人変更の意思表示と認められた事例
4	9月13日	死亡保険金について特別受益に準ずる持戻し（民法903条類推適用）を否定した事例
5	10月11日	保険金受取人の変更に関する約款規定の効力—変更における保険者承諾の要求および遺言による変更の禁止—
6	11月8日	胃GISTががん保険契約に適用される約款上の悪性新生物に該当しないとされた事例
7	12月13日	高度障害該当性、重大事由解除
8	1月10日	契約復活時の告知義務違反
9	2月14日	転換における解約控除についての説明義務違反、転換契約の信義則ないし公序良俗違反の成否（消極）

(2) 生保・金融法制研究会

	開催月日	テ ー マ
1	7月12日	公益通報者保護制度の沿革と考察
2	9月3日	公開買付制度に関する2024年金融商品取引法改正
3	11月8日	サステナビリティ情報の開示・保証制度を巡る政策動向
4	12月24日	保険相互会社による相互保険と商行為性の問題 —付論 今日における生命保険相互会社と生命保険株式会社—
5	3月3日	精神障害中の自殺・再論

(3) 生命保険会計研究会

	開催月日	テ ー マ
1	6月3日	IFRS9/17の初年度適用分析
2	9月19日	外部専門家によるESRの検証と監査人
3	12月11日	サステナビリティ情報に関わる欧州の諸規則～域外適用企業との対話への影響も視野に入れて～
4	2月10日	国内経済価値規制とICSの動向について
5	3月24日	IFRS17の初度適用に関する調査について

(4) 生保関係法制研究会

	開催月日	テ ー マ
1	5月29日	保険会社における生成AIの活用と法的課題
2	7月5日	保険約款の解釈について
3	9月9日	経済安全保障制度と生保事業
4	11月22日	保険契約における民法478条の適用に関する検討—近時の裁判例を題材に—
5	1月31日	損害保険業に関する有識者会議・金融審WGの議論を踏まえた保険制度・監督上の課題
6	3月13日	保険契約の成立時の規律に関する一考察—東京地裁令和2年11月6日判決と適合性原則等—

(5) 生命保険基本判例研究会

	開催月日	テ ー マ
1	5月17日	約款貸付（性質、（無権）代理人による貸付、電子機器利用貸付）、差押債権者による解約、破産・質権による保全処分
2	6月21日	保険者の免責①（自殺の認定、精神疾患と自殺）
3	7月19日	保険者の免責②（故殺、法人関係者による故殺）
4	9月20日	保険者の免責③（傷害保険における故意・重過失）
5	11月15日	傷害保険の支払事由①（急激・外来）
6	12月20日	傷害保険の支払事由②（故意・偶然）
7	1月17日	傷害疾病保険の支払事由（入院の意義、がん保険の支払事由・不担保期間、契約前発病不担保）
8	2月21日	重大事由による解除、反社会的勢力の排除（暴排条項の有効性・適用）

(6) 家族が多様化する時代の保険のあり方に関する研究会

	開催月日	テ ー マ
1	5月17日	研究テーマの紹介・意見交換
2	8月5日	認知経済学と神経経済学から考える高齢化社会—主観年齢を中心に—
3	11月22日	①女性の長い高齢期への備えとして ②老親を支えるのは誰？—青少年研究会調査2022から—
4	2月20日	①生命保険金受取人の親族原則はモラル・リスクを排除できるか —同性カップルへの例外拡大プロセスの検討 ②最近のウェルビーイング、ファイナンシャル・ウェルビーイングを巡る 国内外の動向～生保の視点を交えながら～
5	3月27日	①結婚市場は現役世代の負担格差を助長するか —一人っ子は誰と結婚するのか？— ②家族の多様化と成年後見

8. 研究助成者・研究テーマ一覧

※氏名（共同研究者の場合は研究代表者）五十音順で掲載
 ※共同研究は、筆頭者を研究代表者とし、2人目以降の共同研究者は申請書記載順
 ※所属・役職は申請時点のもの

<若手研究者>

No.	氏 名	大学・学部	役 職	研 究 テ ー マ
1	荒木 千秋	大阪電気通信大学 メディアコミュニケーションセンター	特任講師	大学生の保険知識と加入行動：コンピュータ基礎教育への応用
2	岩城 円花	東北大学 大学院法学研究科	助教	保険金請求権の特別受益の持ち戻しに関する規律—アメリカ法との比較から—
3	熊代 拓馬	神戸大学 大学院法学研究科	准教授	商取引における不実表示の重要性（materiality）—保険法と証券法を対象に
4	鄭 燦玉	立教大学 法学部法学科	助教	助言義務に関するドイツ保険契約法の新規制
5	ダヴィデ・ルイジ・トタロ	一橋大学 社会科学高等研究院	助教	EUにおける新AI規制が生命保険事業に及ぼす影響とその法的分析
6	湯山 智教	専修大学 商学部	准教授	機関投資家による非伝統的資産投資に関する研究
7	劉 嫵妮	法政大学 大学院法学研究科	博士課程後期	「突然死」と傷害保険における外来性要件—日中比較法を中心に

<一般研究者>

No.	氏 名	大学・学部	役 職	研 究 テ ー マ
1	畔上 秀人	東洋学園大学 現代経営学部	教授	個人の金融資産選択に親が与える影響の国際比較研究
2	石原 卓典	京都先端科学大学 国際学術研究院	准教授	後期高齢者の生命保険加入状況および生活意識の調査分析—個表データ解析—
	西村 周三	京都大学/ 京都先端科学大学	名誉教授/ 名誉教授	
3	尾崎 祐介	早稲田大学 商学学術院	教授	努力不確実性が予防行動に与える影響
4	永野 護	成蹊大学 経済学部/ アジア太平洋研究センター	教授/ 所長	生命保険需要と行動バイアス：保険支払事由の過小評価と加入率の研究
5	三宅 新	北海道大学 大学院 法学研究科	教授	契約上のオプリーゲンハイトによる約款規制と片面的強行規定との関係
6	宮崎 裕介	日本大学 法学部	教授	保険契約者配当の法的位置付けと規制のあり方—会社法の規律と保険会社の特性との比較の観点から

【2024年度優秀論文受賞者・受賞論文】 ※所属・役職は受賞時点のもの

- ・最優秀論文賞 : 該当者なし
- ・優秀論文賞 : 該当者なし
- ・研究奨励賞 : 該当者1名

受賞者 : 荒木 千秋 氏(大阪電気通信大学 メディアコミュニケーションセンター 特任講師)
 受賞論文 : 多様化する生命保険加入チャンネルと加入行動
 —保険リテラシーの視点—

9. 保険学セミナー・保険学セミナー懇談会の開催状況

※開催月日順→発表順で掲載

保険学セミナー＜東京＞

開催月日	テ ー マ
4月20日	保険約款の解釈について
5月18日	保険契約約款における中心条項規制について—フランス法と比較して—
	社会主義から資本主義への移行期を経験した国における生命保険会社 —財産権と生命保険会社の運用リスクおよび保険料収入を中心とした覚書—
	リスクから見た二つの保険制度の可能性—中出哲教授の問題提起を受けて—
7月20日	健康増進型保険におけるインセンティブ効果に関する経済分析
	低所得世帯の生命保険・共済加入行動に関する考察
	傷害保険における「外来の事故」の意義の再考
9月21日	学校教員を対象とした「保険」に対する意識とリスク教育の実施に関する調査研究
	メンタルヘルスと保険者の危険選択 —精神障害中の自殺と免責の関係を中心に
12月14日	米国保険法研究の始め方～とある研究者の研究スタイル～
	COVID-19 パンデミック等外部要因リスクを考慮した市場分析
1月25日	前立腺癌患者の生命保険加入状況と定位放射線治療のニーズを探索する調査 —都心および地域の病院間での比較—
	死亡保険金受取人の変更 —札幌高判令和4年10月14日 (LEX/DB25598707) の検討を中心に

保険学セミナー＜大阪＞

開催月日	テーマ
4月13日	デジタル時代における生命保険の保険加入行動 金融リテラシーとデジタルスキルの影響
	生命保険信託と資産移転課税－英国制度を中心に－
5月11日	生命保険を題材としたボードゲームの開発およびパフォーマンスによる効果測定
	高齢者に関する生命保険契約の締結をめぐる法的課題
	生命保険会社における商品ポートフォリオの変化が収益に与える影響
7月13日	アメリカ医療保障制度の現状と課題 産業・雇用構造の変化との関連で
	乗換契約の勧誘と募集人の責任
	IFRS9/17の初年度適用分析
9月14日	フランス保険法典の強行法規性
	生命保険受け取り時の「終身年金パズル」の実態－長寿リスクの誤認がおよぼす影響－
12月21日	傷害保険における「急激性」要件の検討
	X-Techにおける生命保険企業と保険サービスに関する考察
1月11日	新型コロナウイルス感染症のパンデミックが生命保険市場に与えた影響の一考察
	未成年者を被保険者とする生命保険についての一考察

保険学セミナー懇談会＜東京・大阪＞

開催月日	場所	テーマ
4月13日 4月20日	大阪 東京	「2023年度 ライフマネジメントに関する高年齢層の意識調査」について
9月14日	大阪	サステナビリティ情報の開示・保証制度を巡る政策動向
9月21日	東京	経済安全保障制度と生保事業
12月14日	東京	女性活躍推進に係る政策動向と生命保険業界における状況
12月21日	大阪	デジタル規制改革推進の一括法を踏まえた生命保険業界における影響
1月11日	大阪	景品表示法の改正動向と生命保険の実務について
1月25日	東京	顧客本位の業務運営に関する原則の再改訂

10. 生命保険論集の掲載状況

※生命保険論集掲載順で掲載、敬称略

※所属・役職は生命保険論集掲載時点のもの

発刊号 (発行月)	種別	タイトル	所属	役職	氏名
227号 (6月)	講演	人的資本経営の真意と企業が採るべき人事戦略	学習院大学 一橋大学	教授 名誉教授	守島 基博
	論文	COVID-19 パンデミック等外部要因リスクを考慮した市場分析	日本大学	教授	菅野 正泰
	論文	ドイツ法における生命保険の剰余金配当と持株会社への利益移転契約—保険会社の「安全の必要性」に関して	神奈川大学	教授	清水 耕一
	論文	ドイツ保険契約法 28 条 3 項における因果関係不存在と背信性—自動車保険における待機義務違反の事例に基づいて—	北海道大学	教授	三宅 新
	論文	社会主義から資本主義への移行期を経験した国における生命保険会社—財産権と生命保険会社の運用リスクおよび保険料収入を中心とした覚書—	東洋学園大学	准教授	富田 洋介
228号 (9月)	論文	低所得世帯の生命保険・共済加入行動に関する考察	早稲田大学 早稲田大学 八戸学院大学 日本大学	教授 非常勤講師 准教授 教授	大塚 忠義 谷口 豊 崔 桓碩 岡田 太
	論文	保険前史の考察—メソポタミア文明の保険類似制度—	西南学院大学	教授	小川 浩昭
	論文	女性は男性よりもリスク回避的か？	武蔵大学 住友生命	教授 主計部上席 部長代理	茶野 努 増井 正幸
	論文	保険法51条3号における「保険金受取人」の範囲—高松高裁平成26年9月12日判決を再考する—	近畿大学	教授	野口 夕子
	論文	生命保険会社における商品ポートフォリオの変化が収益に与える影響	久留米大学	教授	金 瑛
229号 (12月)	論文	IFRS 9/17の初年度適用分析	静岡県立大学	教授	上野 雄史
	論文	新型コロナウイルス感染症のパンデミックが生命保険市場に与えた影響の一考察	四国大学 明治大学	准教授 専任教授	稲倉 典子 藤井 陽一朗
	論文	学校教員を対象とした「保険」に対する意識とリスク教育の実施に関する調査研究	常葉大学	准教授	酒井 郷平
	論文	「リスクと保険」を題材としたボードゲームの開発およびパフォーマンスによる効果測定	鹿児島大学	助教	高瀬 和也
	論文	デジタル時代における生命保険の加入行動—金融リテラシーとデジタルスキルの影響—	関西大学大学院	博士後期課程	八重島 崇宏
	論文	健康増進型保険におけるインセンティブ効果に関する経済分析	慶應義塾大学大学院	後期博士課程	植木 祐太
230号 (3月)	論文	保険契約条項と中心条項規制論の「接点」—フランス法を例に—	法政大学	教授	大澤 彩
	論文	重大事由解除の片面的強行規定に関する比較法的考察—ドイツの隠れたオプリーゲンハイト法理から導く解釈論—	北海道大学	教授	三宅 新
	論文	保険会社をはじめとする金融機関のCovid-19危機下における株式市場の反応について	名古屋市立大学 名古屋市立大学	准教授 准教授	坂和 秀晃 渡辺 直樹
	論文	日本における長寿リスク誤認の実態—数例のリテラシー、現在バイアスに注目して—	甲南大学 慶應義塾大学	准教授 教授	上村 一樹 駒村 康平
	論文	生体間臓器提供と保険	佛教大学	准教授	三重野 雄太郎
	論文	戦間期ザール地域におけるフランス人移民の社会保険制度—生命保険会社の役割に焦点を当てて—	東京大学	博士後期課程	西田 尚輝

11. 個票データの学術的活用状況

※所属・学年は受賞時点のもの

【個票データを用いた懸賞論文 2024年度優秀論文受賞者・受賞論文】

- ・受賞者 : 青山 拳太郎 氏、榎本 侑一郎 氏（ともに早稲田大学 商学部4年）
- ・受賞論文 : 生命保険加入の要因に関する研究

2024年度

第14期事業報告書

2025年6月

公益財団法人 生命保険文化センター

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1
新国際ビル3階

TEL (03) 5220-8510

URL <https://www.jili.or.jp/>

